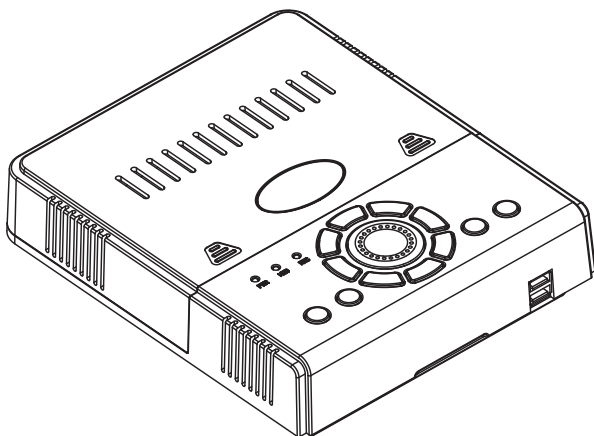


H.264 デジタルレコーダー

AD-N4 シリーズ

取扱説明書



このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なときにお読みください。
製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用
してください。

目次

安全上のご注意	4	メニュー操作	
		メインメニュー表示	31
必ずお読みください	6	カメラ	
		調整	32
		タイトル表示	33
接続と準備		RS-485	34
パッケージ内容の確認	9	システム	
各部名称	10	設定保存 / 復旧	35
カメラからの配線	14	言語 (LANGUAGE)	38
モニターへの配線	15	NTSC/PAL 選択	39
メイン出力 1 (HDMI 接続)	16	ファン回転速度	40
メイン出力 2 (VGA 接続)	17	映像出力設定	41
サブ出力 (アナログ接続)	18	日付 / 時間設定	44
電源を入れる	19	パスワード設定	48
HDD の認識	20	情報	52
基本操作		記録設定	
ライブ画面の見方	21	録画の基礎知識	53
録画について	22	画質と記録時間	54
工場出荷時の録画設定	22	画像情報	55
見たい CH を表示する	23	記録フレームレート	56
記録した映像の再生	24	画質	58
日時指定再生	25	音声	59
イベント指定再生	27	解像度	60
イベント記録	29	スケジュール	61
検索しおり	29	HDD 情報	63
マウス操作	30		

アラーム	69
ビデオロス検知	70
モーション録画設定	71
警告音	77
操作音	78
外部センサーの設定	79
外部アラームの接続	83
アラーム出力条件	84
ビデオロス反応時間	85
アラーム継続時間	86
バックアップ	
USB メモリのフォーマット	87
USB に記録データを保存	88
バックアップデータをパソコンで再生	90
ネットワーク	
リモートアクセスについて	91
ローカル接続	92
ローカル接続の設定方法	93
グローバル接続	97
グローバル接続の設定方法	98
リモートアクセス操作	101
操作手順	103
高度な設定	108
アクセス権限	110
HDD の交換	112
仕様	
製品仕様	116
外形寸法図	118

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示についてこの「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)



禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)



免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。



警告



水などがかからないようにしてください

- 本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



分解・改造しないでください

- 本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

**異常状態で使用しないでください**

- 発熱していたり煙がでている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。
煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。
お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。

**この機器の取扱について**

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。
機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。

**異物が入った時は**

- 本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
- 異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**落としたり、破損したときは**

- 本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

⚠ 注意**設置場所について**

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。

**この機器の取扱について**

- 本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**ご使用にならないときは**

- ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。

**本機の上に重い物を置かないで下さい**

- 重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等だけが原因となることがあります。

必ずお読みください

お客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。
ご使用前に内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただいた上でご利用ください。

内蔵HDDについて

ハードディスク（以下HDD）は、ホコリ・振動・衝撃・磁気・高温に弱いため下記の環境下ではご使用をお避けください。
また、大切なデータを失わないよう、下記の点にもご注意ください。

- ・ 本機に振動、衝撃を与えない。
 - ・ 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
 - ・ ビデオやアンプなど熱を持つ可能性のある機器の上に置かない。
 - ・ 急減な温度変化のある場所では使用しない。
 - ・ 電源を入れたまま本機を動かさない。
-

大切なデータを失わないために

万が一HDDが故障した場合、データの復旧は出来ません。
HDDの性質上、長期間の保存先としては十分な媒体ではありませんので必要なデータ（証拠映像など）はUSBメモリにてバックアップを取っていただきますようお願い申し上げます。

ハードディスクの修理について

修理点検の際、不具合確認・改善のためにHDD内のデータを確認させて頂く場合があります。また必要に応じお客様にご了承を頂いた上でデータのバックアップを取らせていただく場合がございます。修理の際にHDDの交換・初期化が必要な場合は当社の判断で初期化を行わせて頂く場合がございます。初期化の際はHDDに記録された内容は全て失われますのでご了承ください。

また交換させて頂いたHDD内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処理をさせていただきます。

記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随するあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

また交換させて頂いたHDD内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処理をさせていただきます。

画面の焼きつきについて

長時間変化のない映像（動きのないカメラ映像やメニュー画面など）を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像（焼きつき）が残ってしまう場合があります。確認の必要がない場合などはモニターの電源を切るなどしてください。

時計機能について

本機の時計表示は内蔵クロックによってカウントされております。

内蔵クロックは月差で約 1 分程度の誤差が発生します。

防犯上の録画は時刻表示が重要になる場合がありますので、定期的に時刻をご確認の上、正しい時刻に補正して頂くをお願い致します。

動体検知機能（モーション検知）について

本機の " 動体検知機能 " は接続されるカメラの映像（ノイズやフリッカー、頻繁な色調変化など）に乱れがある場合、誤作動を起こしたり使用者の思い通りに動作させることが難しい場合があります。特に以下のような場合、動作が不安定になります。

- ・ 背景と被写体（動体）の色が近い場合
- ・ 夜間撮影時、ノイズが多く発生する
- ・ 被写体の動きが遅い
- ・ 画面上の被写体が小さく表示されている場合
- ・ 車のライトや日光などが時折光源が差し込む場合
- ・ 蛍光灯がチカチカしている場合（フリッカー）
- ・ カメラに対して前後の動きをする被写体

動体検出を行う際は、あらかじめカメラの設置状況と被写体の動きを想定し被写体の動きに沿った設定を行ってください。

また、昼と夜では検知感度に差が出ますので昼と夜両方の環境で動作を確認していただくことをお勧めいたします。

接続と準備

パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っておりますのでご使用前にご確認ください。

① AD-N4 本体	× 1
② USB マウス	× 1
③ AC アダプタ	× 1
④ターミナルブロック (センサー・アラーム用)	× 1
⑤ BNC-RCA 変換コネクタ	× 5
⑥リモコン	× 1
⑦ 4CH 映像ケーブル	× 1
取扱説明書 (本書) 保証書 (本書裏表紙)	



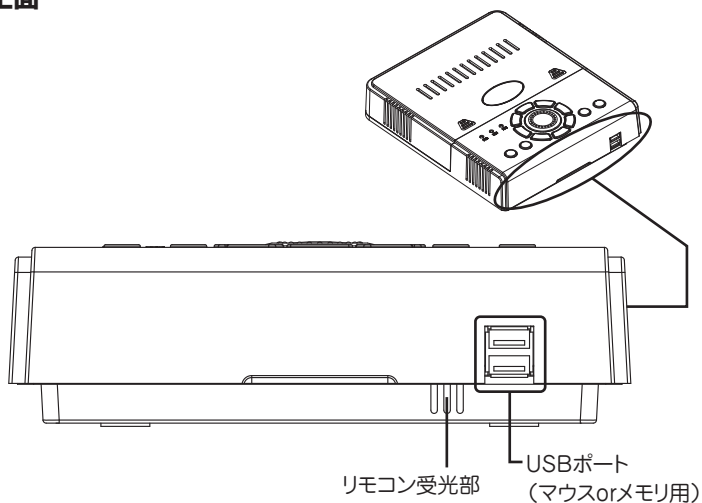
※付属品の外観や仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

各部名称

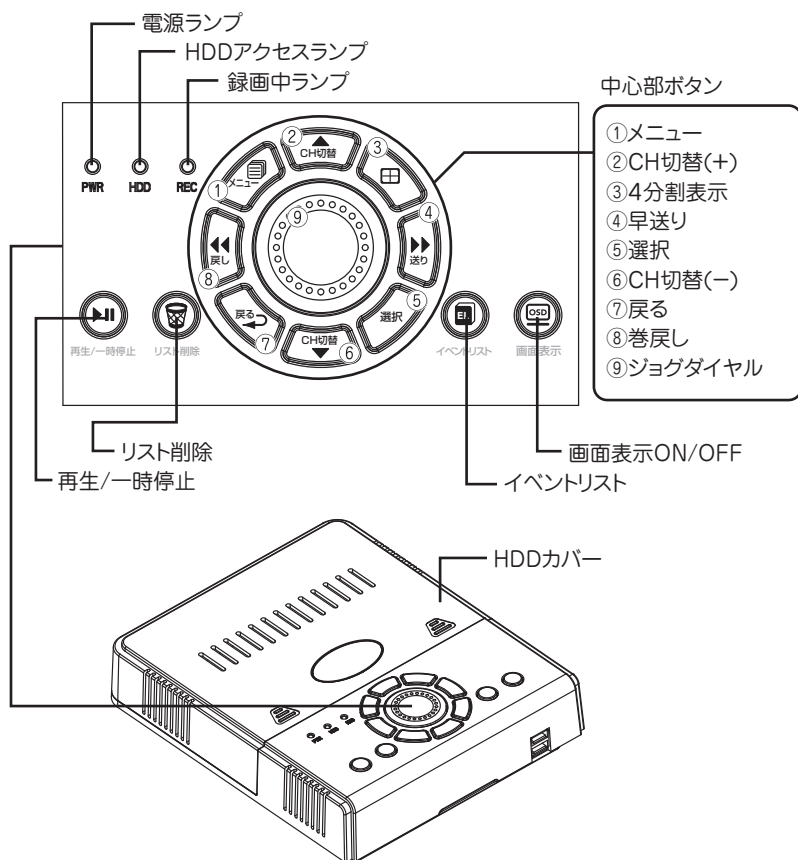
製品の各部名称は以下のようになります。

本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。

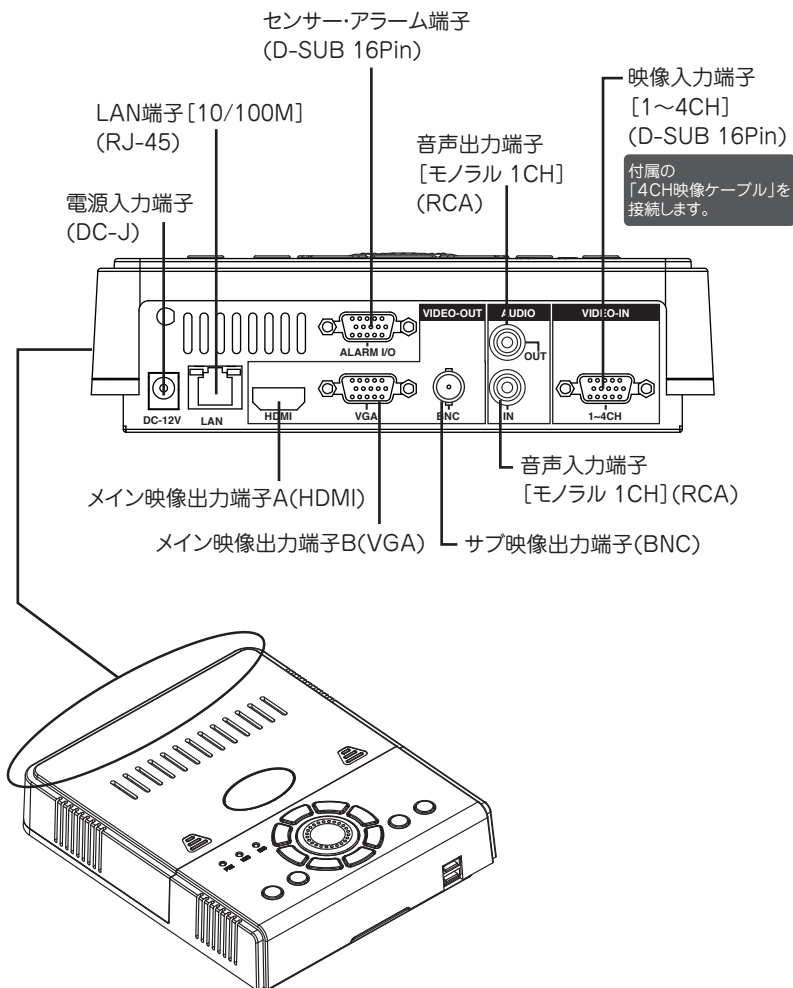
正面



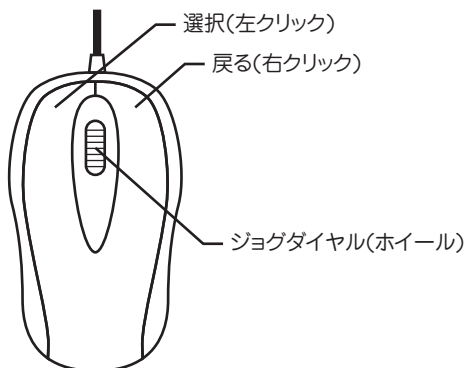
操作パネル



背面端子



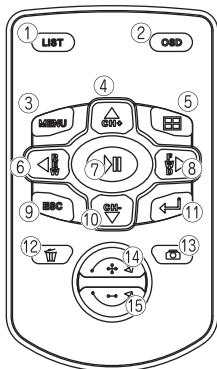
マウス



※マウス操作は本体のボタン操作と同じになります。

リモコン

リモコンボタン名称



- | | |
|--------------|----------------|
| ① イベントリスト | ⑫ リスト削除 |
| ② 画面表示ON/OFF | ⑬ 使用しません |
| ③ メニュー | ⑭ ジョグダイヤル(右回転) |
| ④ CH切替(+) | ⑮ ジョグダイヤル(左回転) |
| ⑤ 4分割表示 | |
| ⑥ 巻戻し | |
| ⑦ 再生/一時停止 | |
| ⑧ 早送り | |
| ⑨ 戻る | |
| ⑩ CH切替(-) | |
| ⑪ 選択 | |

※リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

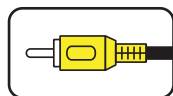
※リモコンの各ボタン動作は本体のボタン操作と同じになります。

カメラからの配線

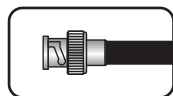
まず始めに本機に接続できるコネクタ形状を確認し、下記の配線イメージを参考にカメラ配線を本機へ接続してください。

カメラケーブルのコネクタ形状は下記の2種類が接続可能です。

利用できるカメラ側コネクタ

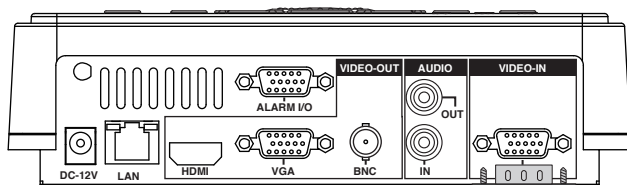


RCA プラグ（主に家庭用カメラ）
同梱の（BNC-RCA 変換コネクタ）を利用して接続可能です。



BNC プラグ（主に業務用カメラ）
直接本機に接続可能です。押し込んで回転させるとロックします。

配線イメージ



本機からカメラへの
電源供給は行えません。
カメラの電源は別途個別に
供給してください。

4CH映像ケーブル(付属)

ケーブルにCH番号が
記載されています。

BNCプラグの場合

RCAプラグの場合

BNC-RCA変換コネクタ(付属)
(押し込んで回すとロックします。)

モニターへの配線

カメラからの配線が終わりましたら本機からモニターへの配線を行ってください。

はじめに

1. 本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。使用しない映像出力端子にケーブルが接続されていた場合、正しくモニターが選択されない場合があります。電源投入後 1 分ほど経過しても画面が表示されない場合は、映像出力端子の配線接続を 1 つにして再度電源を入れなおしてください。
2. 接続するモニターによって画面の縦横比、操作アイコンの画面表示位置が多少変わる場合があります。

メイン出力

モニター種類	地デジTV 等	PCモニター
映像入力端子	HDMI 1.2以降	VGA(Dsub-15Pin)
画面解像度	1080p(1920x1080) 720p(1280x720)	1920x1080 1680x1050 1280x1024 1024x768
リフレッシュレート	50Hz または 60Hz	

サブ出力

モニター種類	アナログTV 等
映像入力端子	BNC または RCA (NTSC)

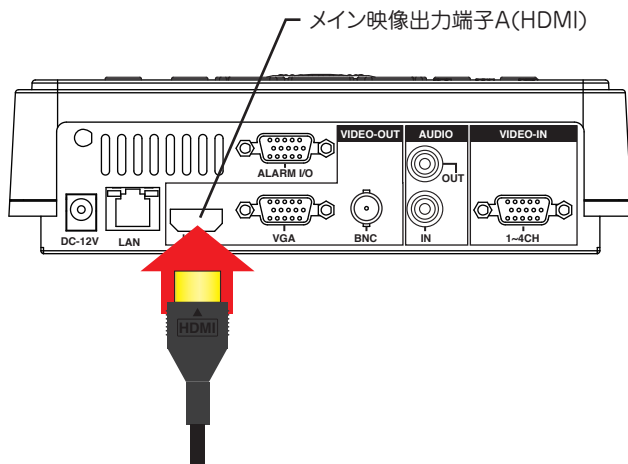
上記の仕様を満たすモニターが利用可能です。

※稀に上記の仕様を満たしていても使用できないモニターがある場合がございます。

※サブ出力へメニュー画面を表示した場合、メニュー表示が読みにくなる場合があります。

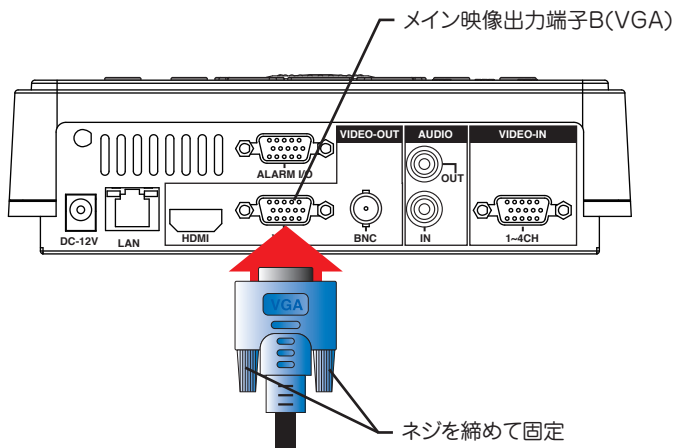
メイン出力 1 (HDMI 接続)

1. 始めに市販の HDMI ケーブルをご用意ください。(付属していません)
2. HDMI ケーブルをメイン映像出力端子 A にコネクタの向きを確認して差し込みます。
3. モニター側も同様に行ってください。※モニター側への接続方法がわからない場合はモニターの取扱説明書をご覧ください。



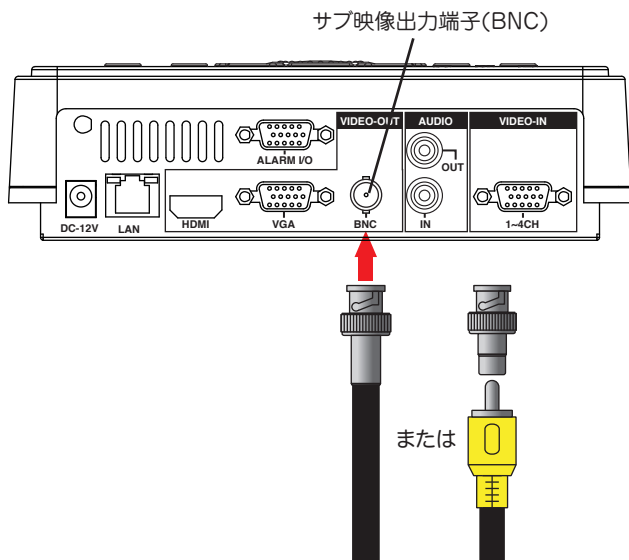
メイン出力 2(VGA 接続)

1. 始めに市販の VGA ケーブルをご用意ください。(付属していません)
2. VGA ケーブルをメイン映像出力端子 B にコネクタの向きを確認し差し込みます。
3. 両端のネジを締めて固定します。
4. モニター側も同様に行ってください。※モニター側への接続方法がわからない場合はモニターの取扱説明書をご覧ください。



サブ出力（アナログ接続）

1. 始めに市販の BNC または RCA のビデオケーブル（黄色）をご用意ください。（付属していません。）
2. 下記図を参考に接続してください。



※サブ出力もメイン出力と同じように利用可能ですが、メニュー画面を表示した場合メニュー表示が読みにくなる場合があります。

電源を入れる

配線が終わりましたら本機に AC アダプターを接続し AC100V コンセントに接続すると起動画面が表示され本機が起動します。

起動が完了すると接続しているモニターに映像が映し出されます。

接続のカメラ映像が表示されているかご確認ください。カメラ映像が表示されていない場合は、本書「P14 カメラからの配線」「P15 モニターへの配線」の項をご確認の上、再度電源を入れ直してください。



ご注意!

使用しない配線は全て外してください。

本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。使用しない映像出力端子にケーブルが接続されていた場合、正しくモニターが選択されない場合があります。電源投入後 1 分ほど経過しても画面が表示されない場合は、映像出力端子の配線接続を 1 つにして再度電源を入れなおしてください。

HDD の認識

電源が入りカメラ映像が表示されたら本機は自動的に HDD の認識を始めます。
この作業には約 30 秒～ 60 秒 程度が必要です。
HDD が正しく認識されると画面下部のディスクステータスに容量が表示されます。
その後自動的に録画が開始されます。

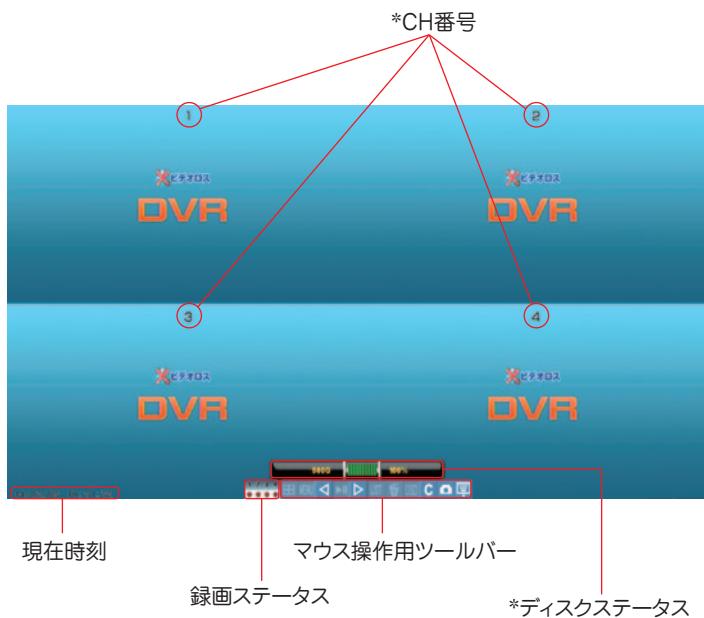


ディスクステータス表示が見当たらない場合、本体またはリモコンの  ボタンを押してください。

基本操作

ライブ画面の見方

ライブ画面の表示は以下ようになります。



「*」マークの表示は OSD ボタンを押すたびに表示の ON/OFF が可能です。

録画について

本機の初期設定では電源が入り HDD の認識後、カメラが接続されている状態であれば自動的に録画を開始します。

録画設定を特に変更しない場合は下記の工場出荷時設定のまま録画が行われます。

録画設定を変更する場合は各種設定（メニュー操作）「録画」の項をご覧ください。

工場出荷時の録画設定

カメラ番号	カメラ1	カメラ2	カメラ3	カメラ4
フレームレート	15fps	15fps	15fps	15fps
音声記録	×			
解像度	704×240			
画質	3(標準)	3(標準)	3(標準)	3(標準)
上書き録画	する(ON)			

見たい CH を表示する

画面を切り替える場合は下記の動作で行います。

4 分割表示



ボタンを押してください。

単画面表示



を押すたびに 1 → 2 → 3 → 4 の順で画面表示が切り替わります。



を押すたびに 4 → 3 → 2 → 1 の順で画面表示が変わります。

記録した映像の再生

録画した映像を再生するには、2通りの方法があります。

日時指定再生

再生したい日時を指定して再生する方法です。
通常の再生ではこの方法を使います。

イベント指定再生

イベントリストから過去に起きたイベントを指定して再生する方法です。
主にモーション録画や外部センサーと連動している場合、機械トラブルの発生時の状況確認等に使用します。
(この再生方法を利用する場合は、あらかじめモーション録画やセンサー録画の設定を行っておく必要があります。)

日時指定再生

日時を指定して映像を再生します。

操作手順

1. ライブ画面で  を押すと日時指定枠が表示されます。



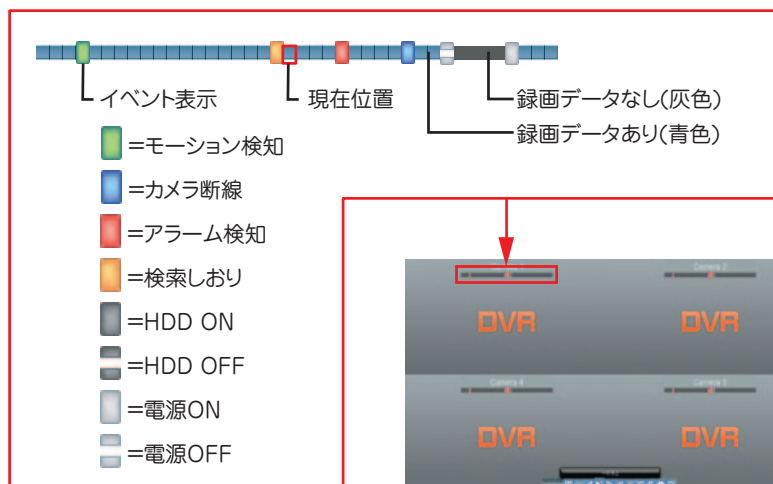
2.   で "日 / 時 / 分 / 秒 / フレーム" にカーソルを合わせ、 を回して日時を指定します。

3. 再生したい日時を指定したら  を押すと再生が始まります。

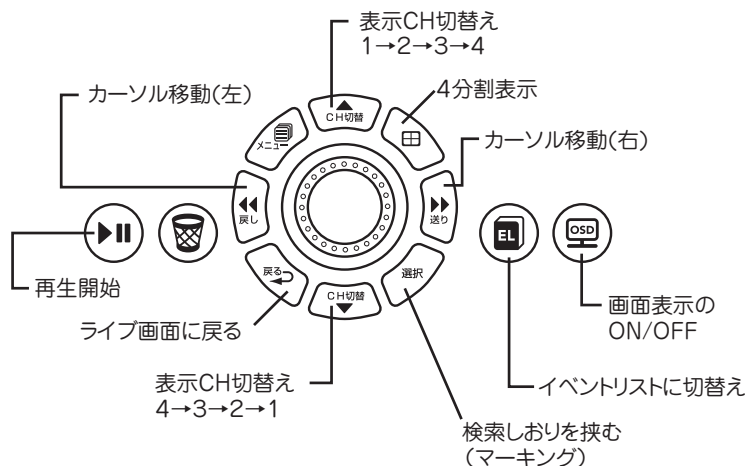
■再生をやめるには  ボタンを押します。

基本操作

録画ステータスバーの見方



日時指定再生時の操作

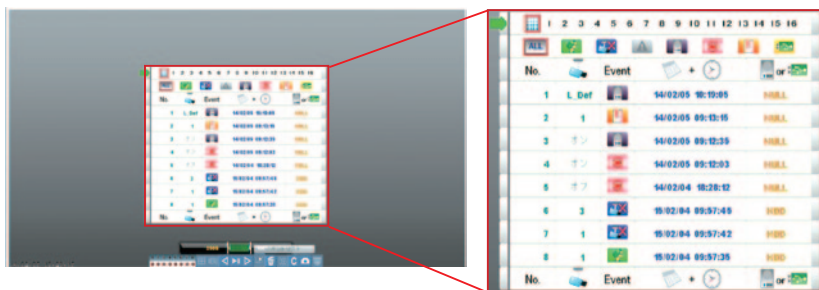


イベント指定再生

日時を指定して映像を再生します。

操作手順

1. ライブ画面で  を押すとイベントリストが表示されます。



2.   または  を回してイベントにカーソルを合わせ  を押すとイベントの開始地点より映像が再生されます。

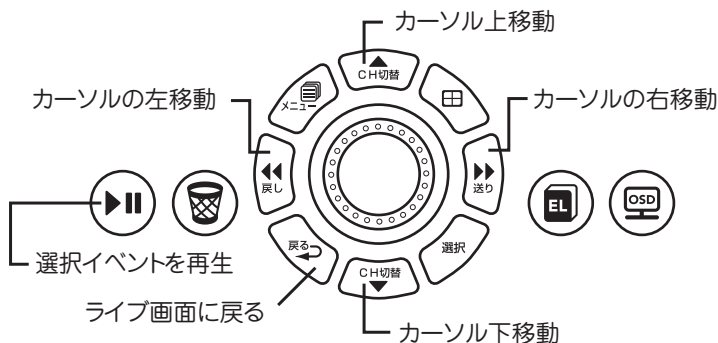
■再生をやめるには  ボタンを押します。

イベントリストの見方

No.	Event	記録日時	記録ストレージ
1	L_Def	14/02/05 10:19:05	NULL
2	1	14/02/05 09:13:15	NULL
3	オン	14/02/05 09:12:35	NULL
4	オン	14/02/05 09:12:03	NULL
5	オフ	14/02/04 18:28:12	NULL
6	3	15/02/04 09:57:45	HDD

イベント番号
 カメラCHまたはON/OFF
 イベント種類
 記録日時
 記録ストレージ

イベント指定再生時の操作



イベント記録

本機はカメラの断線やアラーム検出等が行われると自動的にイベントリストに記録します。記録される情報は以下の7種類です。



= モーション検知



= カメラ断線



= アラーム検知



= HDDのON / OFF



= 電源のON / OFF



= 検索しおり



= USBメモリのデータ



ワンポイントアドバイス!

本機は記録中に発生したイベントを合計で 8192 件記録することが可能です。

イベント記録はイベントが発生した時点で自動で記録されます。

8192 件を超えてイベントが発生した場合は自動で古いイベントが消去され新しいイベントが上書きされます。

検索しおり

映像再生中または一時停止中に  を押すと気になる箇所にしおりを挟む（マーキング）ことが出来ます。



ワンポイントアドバイス!

挟んだしおりはイベントリストに保存されますので、気になる箇所にしおりを挟んでおけばいつでも見たい箇所をイベントリストからすぐに再生することが出来ます。

マウス操作

本機は付属の USB マウスを接続してマウス操作が可能です。

マウスの接続

1. 本機前面の USB ポートに付属のマウスを接続します。
2. 画面上に「Detecting USB Device」と表示されしばらくすると画面上にマウスカーソルが表示されマウス操作が可能になります。

⚠️ ご注意!

マウスを接続してしばらくたっても (2 分以上) マウスカーソルが表示されない場合はマウスを接続した状態で本機を再起動してください。

また、市販のマウスを使用した場合機種によって使えない場合があります。

マウス用の操作アイコン

マウスカーソルを移動させ画面下部に表示されているマウス用ツールバーのアイコンをクリックするとそれぞれの操作が行えます。



各アイコンの動作

- | | |
|-----------|--------------|
| ① CH1を表示 | ⑦ カーソル左移動 |
| ② CH2を表示 | ⑧ 再生/一時停止 |
| ③ CH3を表示 | ⑨ カーソル右移動 |
| ④ CH4を表示 | ⑩ イベントリスト表示 |
| ⑤ 4分割表示 | ⑪ リスト削除 |
| ⑥ メニューを開く | ⑫ 画面表示ON/OFF |

マウスのクリック操作

メニュー画面では、カーソルを移動させてアイコンを直接クリックして操作可能です。また、右クリックをすると一つ前の項目に戻ります。ホイールをまわすと数値の変更が可能です。

メニュー操作

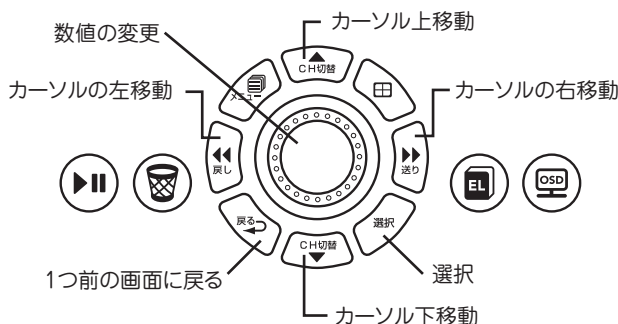
メインメニュー表示

ライブ画面で  を押すとメニュー画面が表示されます。

メニュー画面からは本機の各種設定が行えます。



メニュー画面の操作方法



ワンポイントアドバイス!

本機は設定を変更した時点でそれぞれ設定が反映されます。
変更した数値を別途保存する必要はありません。

カメラ

この項ではカメラに関する設定、調整が行えます。

調整

この項ではカメラの画質調整が行えます。調整可能な項目は以下の4項目です。

輝度（明るさ）

コントラスト（くっきり感）

色合い（色のバランス）

濃度（色の濃さ）

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【調整】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 調整したい【カメラ番号 (1~4)】に   でカーソルをあわせ  を押します。
4. 調整したい項目【輝度・コントラスト・色合い・濃度】に   でカーソルを合わせて  を回して値を変更します。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ご注意!

画質調整は、本機を通して表示 / 録画を行った場合に反映されます。カメラ自体の画質は調整しておりませんのでご注意ください。また、カメラ自体に画質の調整機能がある場合は先にカメラ本体の画質調整を行うことをお勧めいたします。

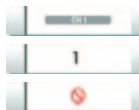
タイトル表示

この項ではカメラ映像の上部に表示するカメラタイトルの設定が行えます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【タイトル表示】にカーソルを合わせて  を回して表示の種類を選択します。

表示の種類



= 画面上に【Camera1】と表示



= 画面上に【1】と表示



= カメラ番号非表示

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

RS-485

PTZ カメラ等をご利用の場合、RS-485 接続にてカメラの制御が可能です。

操作手順

- ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。
- 【RS-485】にカーソルを合わせて を押すと RS-485 の設定画面に入ります。

設定項目

通信速度	38400	= 通信速度 (ボーレート) を設定します
DVR ID	0	= 本機の ID を設定 (0~255)
カメラ設定		= 選択するとカメラ側の設定が行えます
カメラ 1		設定したいカメラ CH を選択
カメラ 2		
カメラ 3		
カメラ 4		
カメラID		= PTZ カメラの ID を選択 (0~255)
カメラ485有効	×	= 通信する場合「○」しない場合「x」
プロトコル	いいえ	= プロトコルの種類を選択

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

⚠️ ご注意!

RS-485 の設定は事前に PTZ カメラ側の設定も行い、設定を合わせる必要があります。
RS-485 の配線方法は「接続と配線」の項をご参照ください。

システム

この項では本機のシステムに関する設定が行えます。

設定保存 / 復旧

本機の設定情報を工場出荷時の状態に戻したり、現在の設定情報を USB メモリに保存、事前に保存しておいた設定情報を USB メモリから読み込んで復旧が行えます。

工場出荷時設定

本機の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し   で   で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【設定保存 / 復旧】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【工場出荷時設定】にカーソルを合わせ  を押します。
4. 【はいえ×】【はい○】と表示されますので   で【はい○】にカーソルを合わせ  を押すと  が表示され復元を開始します。
5.  が消えたら工場出荷時の設定に戻ります。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

工場出荷時設定に戻してしまうと、以前の設定には戻せません。設定情報は事前に USB メモリにバックアップを取っておく事をおすすめ致します。

設定を USB に保存

本機の設定情報を USB メモリに保存します。

操作手順

1. USB メモリを本機の USB ポートに差し込みます。
2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し   で   で  にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【設定保存 / 復旧】にカーソルを合わせて  を押します。
4.   で【設定を USB に保存】にカーソルを合わせ  を押します。
5. 【いいえ x】【はい○】と表示されますので   で【はい○】にカーソルを合わせ  を押すと  が表示され保存を開始します。
6.  が消え「Backup Completed!」と表示されたら完了です。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

初めて使う USB メモリの場合または「フォーマットしてください!」と表示が出る場合は、先に本機でのフォーマットを行ってください。

保存したデータは USB メモリの「Conf」フォルダ内に「data.rom」というファイル名で保存されます。

保存データは複数作る事は出来ません。保存を行うたびに上書きされます。

USB から設定を復旧

USB メモリに保存された設定情報を読み込んで復元します。

操作手順

1. 設定情報が保存された USB メモリを本機の USB ポートに差し込みます。
2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【設定保存 / 復旧】にカーソルを合わせて  を押します。
4.   で【USB から設定を復旧】にカーソルを合わせ  を押します。
5.  の表示後、しばらくすると【いいえ×】【はい○】と表示されますので   で【はい○】にカーソルを合わせ  を押すと設定情報の復元を開始します。
6. 「Uoload Successful !」と表示されたら本機の電源を入れ直してください。

■ 操作を行わない場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

USB メモリで設定保存を行っていない場合等、USB メモリの「Conf」フォルダ内に「data.rom」ファイルが存在しない場合、復旧作業がエラーになります。その際は、USB メモリを本機から外し電源を入れ直して再起動してください。

言語 (LANGAGE)

メニュー表示の言語を選択できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【言語 (LANGAGE)】にカーソルを合わせて  を回すと言語が選択できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

通常は、「日本語」でご利用ください。

NTSC/PAL 選択

映像信号の種類を選択できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【NTSC/PAN 選択】にカーソルを合わせて  を回すと映像方式を変更できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

通常は、「オート」のままでご利用ください。

日本国内は「NTSC」規格です。オートのまま接続しても正しく表示されない場合は「NTSC」に変更してみてください。

ファン回転速度

廃熱ファンの速度を変更できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【ファン回転速度】にカーソルを合わせて  を回すとファン速度が変更できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

ファンの速度は「高速」「標準」「低速」の3種類から選択可能です。

「低速」に設定すると動作音は小さくなりますが、廃熱性が低くなるため設置環境が高温になる(+35℃以上)可能性のある場所では「標準」または「高速」に設定してください。

映像出力設定

本機からモニターへの映像出力に関する設定が行えます。

HDMI 表示サイズ調整

HDMI での接続時、画面の隅が見切れてしまう場合、この項目で調整可能です。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【映像出力設定】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【HDMI 表示サイズ調整】にカーソルを合わせ  を回すと画面の大きさを調整できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

お使いのモニタに合わせて調整してください。

出力解像度

メイン出力モニターへの解像度が設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
 2. 【映像出力設定】にカーソルを合わせて  を押します。
 3. 【出力解像度】にカーソルを合わせ  を回して任意の出力解像度に変更し
で【出力解像度更新】にカーソル合わせ  を押すと一時的に解像度が変更され画面上に【いいえ x】【はい○】と表示されます。
 4. 解像度を変更する場合は【はい○】にカーソルを合わせ  を押すと出力解像度を変更されます。
-

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

通常は「オート」でお使いください。

【出力解像度変更】を選択した際に何も映像が表示されない場合は、お使いのモニターが選択した解像度に対応していません。表示がでない場合、約 40 秒ほどそのままにすると解像度の変更を自動的にキャンセルして元の解像度に戻ります。

BNC 出力モード

サブ出力への表示方法を選択できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【映像出力設定】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【BNC 出力モード】にカーソルを合わせ  を回すと任意の出力モードを選択可能です。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

BNC 出力モードの種類

- 「メイン画面」 = メイン出力画面と同じ表示を行います。
- 「巡 回」 = 約 5 秒ごとに接続されカメラを巡回表示します。
- 「カメラ 1~4」 = 選択したカメラ CH を単画面表示します。

日付 / 時間設定

日付、時刻に関する設定が行えます。

日付 / 時間

日付、時刻、表示順序を設定可能です。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。

2. 【日付 / 時間設定】にカーソルを合わせて  を押します。

3. 【日付 / 時間】にカーソルを合わせ  を押すと設定画面が表示されます。



4.     で設定したい項目にカーソルをあわせ  を回して各値を変更します。

5. 入力が完了したら【更新して終了】にカーソルをあわせ  を押すと日時が更新され一つ前の画面に戻ります。

ワンポイントアドバイス!

日時は証拠になりますので1~3ヶ月に一回程度確認の上、調整を行ってください。

GMT 設定

GMT(グリニッジ標準時)を選択できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【日付 / 時刻設定】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【GMT 設定】にカーソルを合わせ  を回す値を変更可能です。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

 ワンポイントアドバイス!

日本国内は「GMT+9:00」ですので変更せずにそのままお使いください。

サマータイム

サマータイムを設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【日付 / 時刻設定】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【サマータイム】にカーソルを合わせ  を回す値を変更可能です。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

日本国内は「サマータイム」を導入しておりませんので「+0」のままお使いください。

NTP サーバー

本機がインターネットに接続できる場合、NTP サーバーに接続して時刻の自動補正を行わせる事ができます。

操作手順

1. 本機とインターネット回線へ接続できる機器 (モデム、ルーター、ハブ等) を LAN ケーブルで接続します。
2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
3.   で【日付 / 時間設定】にカーソルを合わせて  を押します。
4.   で【NTP サーバー】にカーソルを合わせ  を回して NTP サーバーの種類を選択します。

■ 操作を終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

NTP サーバーは「MST」「NIST」の 2 種類が選択可能です。

アクセス先が異なるだけで両者の違いは特にありません。

「オフ」を選択すると本機がインターネットに接続出来る状態にあっても時刻補正を行いません。

パスワード設定

本機をパスワードロックおよび操作権限を設定できます。

パスワード管理

設定すると、権限に応じて各種操作をロックします。
操作の際はパスワード入力を行わないと操作ができなくなります。

権限について

使用者 1 ユーザー ID 「1」 = ライブ、再生が可能

使用者 2 ユーザー ID 「2」 = ライブ、再生、メニュー操作（パスワード変更以外）が可能

管理者 ユーザー ID 「3」 = 全ての操作が可能

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
 2. 【パスワード設定】にカーソルを合わせて  を押します。
 3. 【パスワード管理】にカーソルを合わせ  を回すと【×】【○】を選択できますのでパスワード管理を行う際は【○】に設定してください。
-

ワンポイントアドバイス!

パスワードは忘れないようご注意ください。

パスワードの入力

パスワード管理を設定している場合、各操作画面を呼び出した際にユーザー ID とパスワードの入力を求められます。入力は以下の手順で行います。

権限について

使用者 1 ユーザー ID 「1」 = ライブ、再生が可能

使用者 2 ユーザー ID 「2」 = ライブ、再生、メニュー操作（パスワード変更以外）が可能

管理者 ユーザー ID 「3」 = 全ての操作が可能

操作手順

1.  を回すと右側の針が回転しますので、入力したいユーザー ID にカーソルをあわせて  を押します。
2. 緑色のカーソルが「Password」に移動しますので  を回して矢印に数字をあわせ  を押して 4 ケタの数字を一つずつ入力します。
3. ユーザー ID とパスワードが正しければ操作画面が表示されます。

■ 操作を終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

初期設定パスワード

使用者 1 ユーザー ID 「1」 = 1111

使用者 2 ユーザー ID 「2」 = 2222

管理者 ユーザー ID 「3」 = 3333

パスワードの変更

ユーザー ID ごとにパスワードの変更が可能です。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【パスワード設定】にカーソルを合わせて  を押すと設定画面が表示されますので、  でパスワード変更したいユーザー ID にカーソルをあわせて  を押します。

パスワード管理	
使用者1	= ユーザー ID 1
使用者2	= ユーザー ID 2
管理者	= ユーザー ID 3

3. パスワードの変更画面が表示されますので  を回して右の矢印を変更したい数字に合わせ  を押して新しく決めたパスワードを (4 ケタ) を入力します。



4. 緑色のカーソルが下の段に移動しますので、確認用に先ほどの数字と同じ4ケタの番号を入力します。

5. 2 回目のパスワード番号を入力後「パスワードを変更しました！」と画面に表示が
出ればパスワードの変更は完了です。

■ 操作を終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

管理者用「ユーザー ID 3」のパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
管理者用のパスワードを忘れてしまうと、他の権限のパスワードも変更できなくなっ
てしまいます。
万が一忘れてしまった場合は、当社までご連絡ください。

情報

本機のシステム情報を確認できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2.   で【情報】にカーソルを合わせて  を押すとシステム情報が表示されます。

.....

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

この項目は情報を確認するだけでするので設定は行えません。

また、ライブ画面で「選択」を2回連続で押しても情報画面を表示できます。

記録設定

この項では録画に関する設定が行えます。

録画の基礎知識

録画の開始

本機では起動後にカメラが接続されている場合、自動で録画を開始します。
また、マルチプレクス機能を搭載しているためメニュー操作の際も録画を停止せずに設定が行えます。

工場出荷時は、

フレームレート	: 15fps(全 CH)	
画質	: 3(標準)	
解像度	: 704x240	
録画スケジュール	: 全て時間を録画	に設定されています。

録画の停止

手動での停止は行えません。

スケジュールを設定する事で、録画しない時間を設定する事は可能です。

自動上書き機能

自動上書き機能を設定している場合は、ハードディスクが一杯になった場合でも古いデータを消しながら新しいデータを記録していきます。

(工場出荷時は ON に設定されています。)

録画データの削除

任意の時間帯や手動操作での部分的なデータ削除はできません。

データを削除する場合は、【ディスクフォーマット】を行う事でディスク内全てのデータを初期化 (全削除) できます。

一度初期化したデータは復元できませんのでご注意ください。

画質と記録時間

録画時の映像品質はフレームレート・画質・解像度の3要素で成り立っています。それぞれを設定することで録画映像の品質と録画できる時間が変化します。

フレームレート(映像の滑らかさ)

コマ送り
(長時間)



スムーズ
(短時間)

画質(記録映像の鮮明さ)

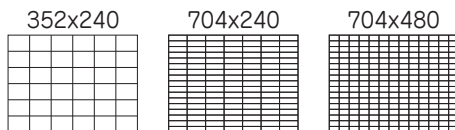
画像粗い
(長時間)



画像きれい
(短時間)

解像度(画面のきめ細かさ)

きめが粗い
(長時間)



きめが細かい
(短時間)

それぞれの設定方法は各設定の項をご覧ください。

画像情報

接続されているカメラの画像情報が確認できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【画像情報】にカーソルを合わせて  を押すと画像情報が表示されます。
3. 画像情報が表示されている画面で   を押すとカメラの CH が切替えられます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

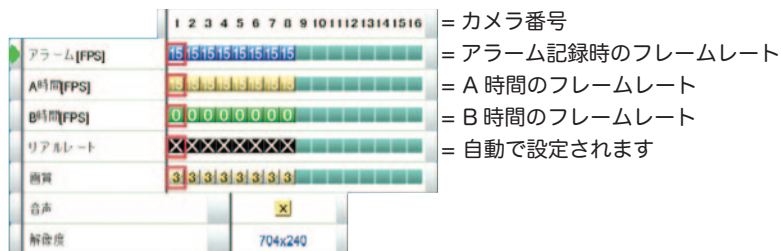
この項目は情報を確認するだけでするので設定は行えません。

記録フレームレート

カメラの録画フレームを設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。
2. 【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



3. で赤いカーソルを移動させ を回してフレームレートを設定します。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。



ワンポイントアドバイス!

録画を行わない場合

フレームレートの欄を「x」もしくは「0」に設定した場合録画は行われません。

リアルレート

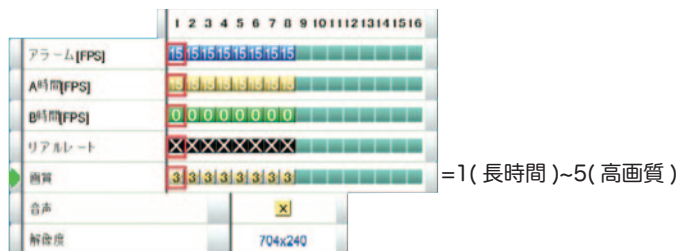
フレームレートが本機の録画能力の限界値を超えて設定された場合、各設定値に応じた割合で記録できる最大のフレームレートに自動で変更され「リアルレート」の欄に表示されます。録画の際は「リアルレート」に表示されたフレームレートで録画を行います。

画質

カメラの画質を設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。
2. 【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



3. で赤いカーソルを「画質」移動させ を回して画質を設定します。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

画質変更の際は、あらかじめ変更した画質で5分ほど録画を行いその映像をご確認頂くと確実です。

画質は 3(標準) 以上に設定して頂く事をお勧め致します。

音声

設定するとカメラと連動させて音声を再生、記録できます。

操作手順

1. ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。
2. 【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



3. 緑色の矢印を で「音声」へカーソルを移動させ を回して音声を連動記録させたいカメラ番号を設定します。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

音声は設定したカメラ CH を単画面表示にした際に再生されます。

4 分割表示をしている場合、音声は出ません。

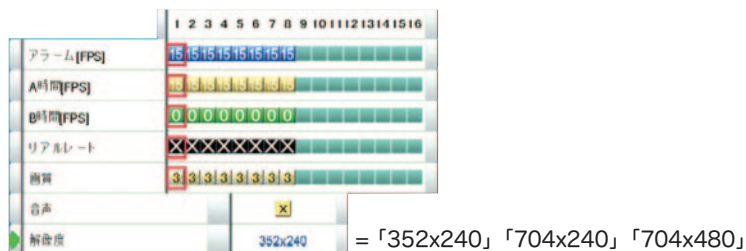
記録映像の再生時も同様です。

解像度

録画時の解像度を設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。
2. 【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



3. 緑色の矢印を で「解像度」へカーソルを移動させ を回して音声連動記録させたいカメラ番号を設定します。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

H.264 コーデックは特性上、高速に動く被写体を録画した際、横にブレたように記録されることがあります。この場合、解像度を「704x240」に設定するとブレが発生しにくくなります。録画の被写体に応じて解像度を使い分けて頂くとより効果的です。

スケジュール

1 週間を 30 分ごとに A 時間と B 時間に分けて設定・記録することができます。

操作手順

1. ライブ画面で を押してメインメニューを表示し で にカーソルを合わせて を押します。

2. 【スケジュール】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



3. で赤いカーソルを移動させ を押すと A/B 時間の切り替えが行えます。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

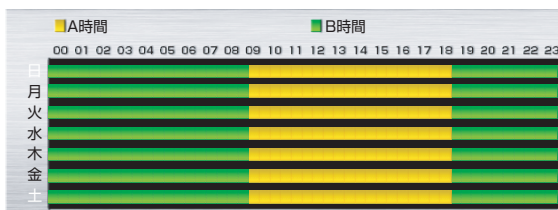
ワンポイントアドバイス!

スケジュール設定画面でジョグダイヤルを右に回すと選択範囲の拡大ができます。反対にジョグダイヤルを左に回すと縮小します。



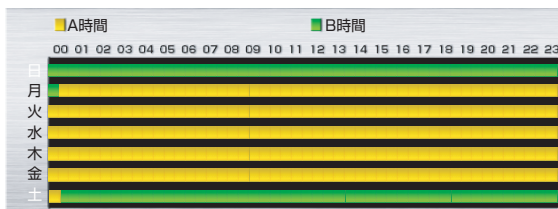
スケジュール設定例 1

9:00 ~ 18:00 までを記録 18:00 ~翌 9:00 までを記録しない場合
スケジュールを以下のように設定し B 時間帯のフレームレートを 0 にします。



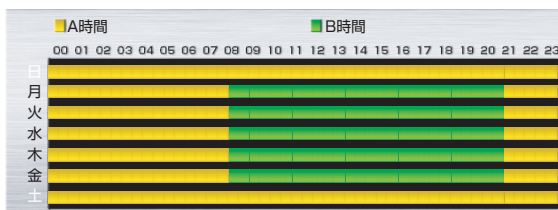
スケジュール設定例 2

月曜から金曜までを記録 土曜日曜を記録しない場合
スケジュールを以下のように設定し B 時間帯のフレームレートを 0 にします。



スケジュール設定例 3

平日の 21:00 ~ 8:00 と土日を 15fps、それ以外を 5fps で記録する場合
スケジュールを以下のように設定し A 時間帯のフレームレートを "15" B 時間帯のフレームレートを "5" にします。



HDD 情報

搭載されている HDD 情報の確認が行えます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【HDD 情報】にカーソルを合わせて  を押すと搭載されている HDD に関する情報画面が表示されます。



- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

 ワンポイントアドバイス!

この項目は HDD 情報の確認の他に HDD に関連する各種設定も行えます。

記録モード

上書き設定等の映像記録の方法に関して設定が可能です。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【HDD 情報】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【記録モード】に緑色のカーソルを合わせて  を回すと設定を変更できます。



- | | |
|---|----------------------------|
|  | = 上書き記録 有効 |
|  | = 上書き記録 無効 (HDD100% で録画停止) |
|  | = 録画しない |

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

初期設定では上書き録画が有効に設定されています。

基本的には上書き録画は有効の状態にして頂く事をお勧め致します。

重要な録画データがあった場合、そのままにしておくと上書きされてしまいますので早めにバックアップを取るなどしてデータを残してください。

外部 HDD 動作モード

本機は USB ポートより外部 HDD を接続して保存領域として利用可能です。
設定は以下の手順で行います。

操作手順

1. USB 接続が可能なハードディスクドライブを本機の USB ポートに接続します。
2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【HDD 情報】にカーソルを合わせて  を押します。
4. 【外部 HDD 動作モード】に緑色のカーソルを合わせて  を回して外部 HDD の動作モードを選択します。



- | | |
|--|--------------------------|
|  | = 外部 HDD を追加して記憶領域を増やします |
|  | = ミラーリングで録画します |
|  | = 録画せずに読み出しのみを行います |

5. モードを選択したらを押すとディスクの使用方法についての確認がされますので、
【○はい】にカーソルを合わせて  を押すと設定が変更されます。

■ 設定を行わない場合は、【×いいえ】を選択してください。



ワンポイントアドバイス!

初めてHDDを接続する場合や画面上に「フォーマットしてください!」と表示される場合は、ディスクフォーマットを行ってください。

外部HDDの動作モードについて

外部HDD録画

内蔵HDDの記憶領域に外部HDDの記憶領域を追加して録画できる最大値を増やします。認識できるHDDの最大容量は内蔵HDDと外部HDDの合計で4TB(4000GB)まで可能です。

ミラーリング

内蔵HDDと外部HDD両方同時に同じ内容の録画データを記録していきます。万が一、どちらかのHDDが故障した場合でも残った方のHDDから映像の再生が可能です。ミラーリング設定時は両方のHDDの内、小さい方のHDD容量で録画を行うようになります。

読み出し専用

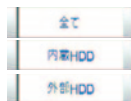
外部ディスクに書き込みを行わず読み出し専用として使用します。既に記録データが入っているHDDを接続して再生をする場合、このモードをご利用ください。

ディスクフォーマット

HDD をフォーマット (初期化) する場合、以下の手順で行ってください。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【HDD 情報】にカーソルを合わせて  を押します。
3. 【ディスクフォーマット 選択】に緑色のカーソルを合わせて  を回してフォーマットする HDD を選択します。



= 内蔵 HDD と外部 HDD の両方

4. フォーマットする HDD を選択したら【ディスクフォーマット】に緑色のカーソルを合わせて  を押すと確認画面が表示されますので【○はい】にカーソルを合わせて  を押すとフォーマットが行われます。

■ 設定を行わない場合は、【×いいえ】を選択してください。



ワンポイントアドバイス!

ディスクフォーマット（初期化）を行うと記録映像が全て消去されます。
一度初期化したデータは復元できませんのでご注意ください。

アラーム

この項では本機の警報 (アラーム) の動作に関する設定 (ビデオロス検知 / モーション録画 / 外部センサー入力 / 外部アラーム出力) を行うことができます。

プレアラーム機能

本機のアラーム録画はモーション検知や外部センサーが動作した際に、アラーム発生の時間から 3~10 秒さかのぼって過去の映像を記録することができる「プレアラーム」機能を搭載しています。

本機の "プレアラーム" 時間 (3 ~ 1 0 秒) は本機の稼動状況によって自動的に設定されます。※本機の "プレアラーム" 機能は解除することができません。

アラームの種類

本機で利用できるアラームの種類は以下の通りです。

それぞれ必要に応じて設定することが可能です。

ビデオロス

ビデオロス (断線検知) を検知してお知らせする機能です。

モーション (動体検知) 録画

画面上の動きを検出してその時間帯を録画する機能です。

外部センサー連動録画

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。

※外部センサーは接点出力のセンサーが利用可能です。※当社では外部センサーを発売しておりません。

外部アラームへの出力

アラームの発生時にサードパーティ製の外部アラームに出力する機能です。

※外部アラームは接点出力 (NO / NC) のセンサーが利用可能です。※当社では外部アラームを発売しておりません。

ビデオロス検知

カメラケーブルの断線を検知してお知らせします。

ビデオロスが発生した場合、該当CHの画面上に  **ビデオロス** と表示されます。

操作手順

- ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
- 【ビデオロス】の欄で   を操作し赤いカーソルを設定したいカメラ CH に合わせて  を回すと【○ (検知する)】【× (検知しない)】が選択できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

この機能はカメラの映像信号が本機に届かなくなった場合に作動します。

画面上に "ビデオロス" と表示された場合は、カメラケーブルの切断やカメラへの電源供給の有無、連結コネクタの緩み・抜けがないかをご確認ください。

使用していないCHがある場合はビデオロス発生時に混乱を招かないようビデオロス検知を "x" にして頂くことを推奨します。

ご注意!

使用していないCHのビデオロス検知が有効になっていると画面上に "ビデオロス" マークが表示され続けます。

本機起動時よりビデオロスが発生している場合はアラーム音は発生しません。

モーション録画設定

モーション探知有効

モーション録画のON / OFFを設定できます。

モーション探知を有効にした場合、モーション録画が働きます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 緑色のカーソルを【モーション探知】に合わせ   で赤いカーソルを設定したいカメラ CH に合わせて  を回すと【○ (有効)】【× (無効)】が選択できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

モーション録画は画面上の動きを解析して検知を行います。

検出の精度を高めるために検知感度 / 検知エリアの設定も可能です。

⚠️ ご注意!

モーション探知録画は、画面上で発生する動体（人間 / 動物 / 植物 / 機械 / 車など）全てに平等に反応します。

そのため特定の動体（人の動き等）に絞って検出を行うことは難しくなっております。
より確実な録画を行う場合は、外部センサーを利用されることをお勧めします。

検知エリアと感度設定

モーション録画を行う際の検知エリアと感度を設定できます。
検知エリアと感度はカメラ毎に設定可能です。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 緑色のカーソルを【モーション設定】に合わせ  を押します。
3. 設定するカメラ CH にカーソルを合わせを  押すと設定画面が表示されます。

設定画面の操作方法は次ページをご参照下さい。

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。
-

ワンポイントアドバイス!

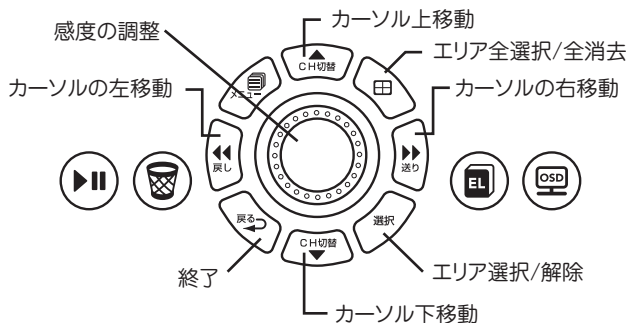
検出エリアは 44x30(1320 マス) で設定可能です。
また、感度は 100 段階で設定可能です。

エリア設定画面

モーション録画の検知エリアと感度を設定できます。
設定したエリアに対してモーション検知が有効になります。



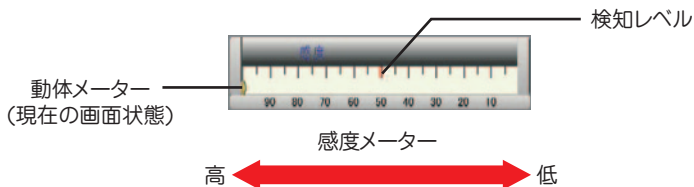
エリア設定画面の操作



検知感度の設定

検知感度は、「動体メーター」を見ながらを回して行います。

- 「動体メーター」が検知レベルを超えたときに録画が開始され、履歴がイベントリストに追加されます。



ワンポイントアドバイス!

「動体メーター」は設定するCHの「モーション検知有効」を【○】に設定していないと動きません。

感度設定する場合は事前に設定CHの「モーション検知有効」を【○】にしてください。
また、「動体メーター」は設定されたエリアに対してのみ有効になります。

動体検知スケジュール

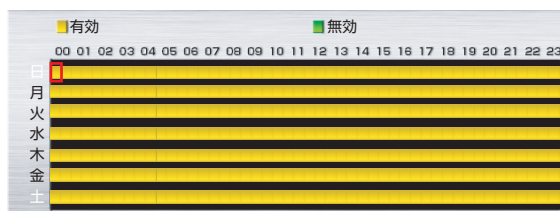
モーション録画を行う際、検知させる時間をスケジュール管理できます。
1 週間を 30 分ごとに A 時間と B 時間に分けて設定・記録することができます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アラーム設定】> 【動体検知スケジュール】の順に選択します。



3.     で赤いカーソルを移動させ  を押すと A/B 時間の切り替えが行えます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

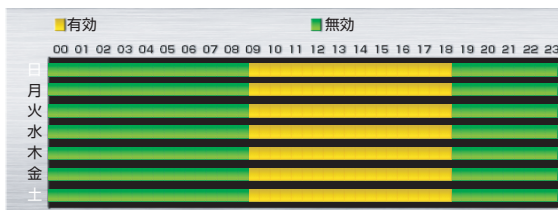
スケジュール設定画面でジョグダイヤルを右に回すと選択範囲の拡大ができます。反対にジョグダイヤルを左に回すと縮小します。



動体検知スケジュール設定例 1

9:00 ～ 18:00 までを動体検知「有効」

18:00 ～翌 9:00 までを動体検知「無効」にする場合。



動体検知スケジュール設定例 2

月曜から金曜までを動体検知「有効」

土曜日曜を動体検知「無効」にする場合



警告音

ビデオロス、モーション検知、外部センサーの入力が発生した場合の警報音の有無を設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【警告音】にカーソルを合わせて  を回すと【○】【×】が選択できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

警告音は万が一のトラブル発生時に警告音を出してお知らせする機能です。
通常は【○】に設定しておいて頂く事をお勧め致します。

操作音

本機を操作する際のボタン音の有無を設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。
2. 【操作音】にカーソルを合わせて  を回すと【○】【×】が選択できます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

ボタン操作音の音量を調整する事はできません。

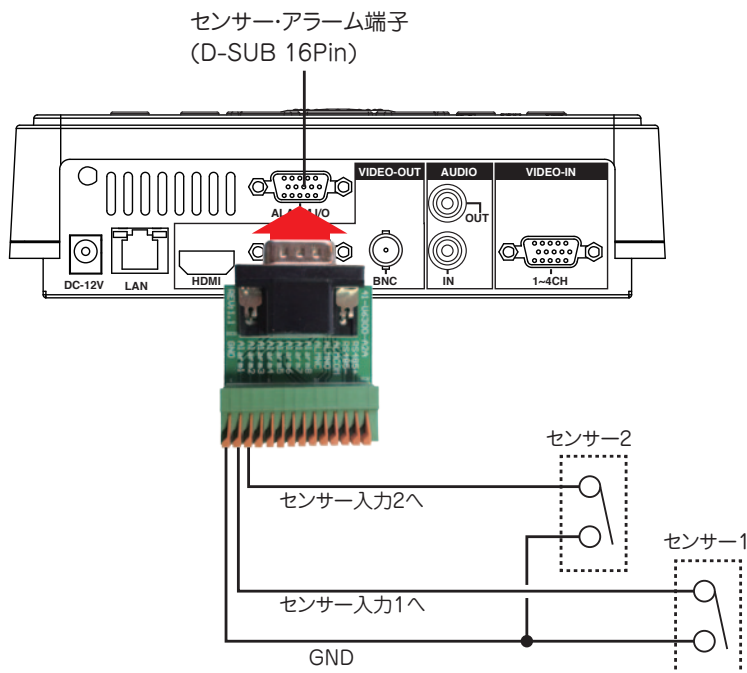
外部センサーの設定

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。
設定するには以下の手順で行います。

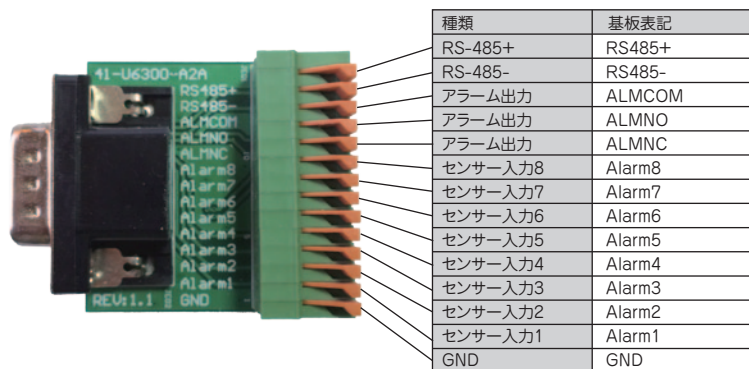
1. 外部センサーの接続 > 2. 入力タイプ > 3. 連動CHの設定

1. 外部センサーの接続

下図を参考にアラームの接続は本機裏面のセンサー入出力端子に外部センサーを接続します。接続には付属のターミナルブロックを利用します。



ターミナルブロック ピン配列



ワンポイントアドバイス!

外部センサーはNOタイプ・NCタイプ(接点出力)が利用可能です。
GND位置は全入力共用です。

2. 入力タイプの設定

外部センサーを接続したらメニュー画面から接続された外部センサーの種類（入力タイプ）を設定します。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルをに合わせて  を押します。
2. 緑色のカーソルを【アラーム設定】に合わせ  を押します。
3. センサーが接続された番号に赤いカーソルを合わせ  を回して入力タイプを設定します。



 = ノーマルクローズ
 = ノーマルオープン
 = 使用しない

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

⚠️ ご注意!

アラーム機能を利用する場合は事前に外部センサーを本機へ接続しておく必要があります。

3. 連動 CH の設定

外部センサーの種類を設定したら、センサー入力時にどのCHと連動させるか設定します。本機はセンサー入力を任意のCHに設定可能です。

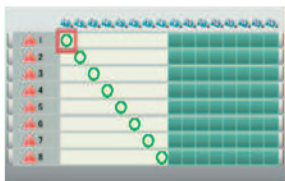
操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アラーム設定】 > 【入力設定】 の順に選択します。

2. センサーと連動させたいカメラ番号に赤いカーソルを合わせ  を回して入力タイプを設定します。



センサーの入力が有った場合、
【○】に設定されているカメラCHが録画されるようになります。

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ご注意!

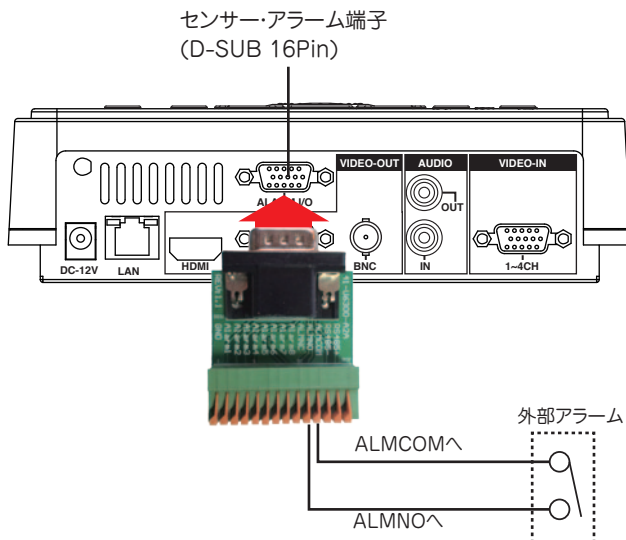
設定された連動CHは録画の項で設定した「アラーム [FPS]」のフレームレートで録画されます。連動CHを設定しない場合、アラームが発生しても録画は行われません。また、一つのセンサー入りに複数のカメラCHを設定することも可能です。

外部アラームの接続

本機はアラーム（カメラ断線 / モーション / 外部センサー）の発生時に外部のアラームへ出力することができます。接続はアラーム入出力端子に外部アラームを接続します。※本機と接続できる外部アラームは接続方式のNOまたはNCタイプの製品です。

配線イメージ

下図を参考にアラームの接続は本機裏面のセンサー入出力端子に外部センサーを接続します。接続には付属のターミナルブロックを利用します。



ノーマルオープン (N.O) 型の機器の場合 =ALMNO と ALMCOM へ接続

ノーマルクローズ (N.C) 型の機器の場合 =ALMNC と ALMCOM へ接続

アラーム出力条件

ビデオロス / モーション / センサー入力が発生した際の動作をそれぞれ詳細に設定できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アラーム設定】> 【アラーム出力設定】の順に選択します。

2. 赤いカーソルを「アラームの種類」と「アラーム発生時の動作」が交差する位置にカーソルを合わせ  を回して各動作のON / OFFを設定できます



- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

アラーム発生時の動作時間はアラーム継続時間 / ビデオロス反応時間で設定された時間がそれぞれ動作します。事前に他の項目を設定されていない場合は、設定が反映されません。

ビデオロス反応時間

ビデオロス発生時どのくらいの時間警報を鳴らすか設定ができます。

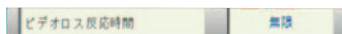
操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アラーム設定】の順に選択します。

3. 緑色のカーソルを「ビデオロス反応時間」にカーソルを合わせ  を回して動作時間（秒数）を設定できます



= ビデオロス発生時の警報の時間

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

この設定はアラーム録画 / 検出 CH を拡大表示 / 警告音と連動しています。
アラーム発生時に設定した秒数の間、アラーム録画 / 検出 CH の拡大表示 / 警告音の動作が行われます。
それぞれの項目を設定しなかった場合、それぞれの動作は行われません。

⚠️ ご注意!

この項目はビデオロスが発生した場合の継続時間です。
アラーム発生 / モーション探知の継続時間はアラーム継続時間の項で設定してください。

アラーム継続時間

アラーム発生 / モーション探知があった際にどのくらいの時間警報を鳴らすか設定ができます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アラーム設定】の順に選択します。

3. 緑色のカーソルを「アラーム継続時間」にカーソルを合わせ  を回して動作時間 (秒数) を設定できます



= アラーム / モーション発生時の警報の時間

- 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

この設定はアラーム録画 / 検出 CH を拡大表示 / 警告音と連動しています。
アラーム発生時に設定した秒数の間、アラーム録画 / 検出 CH の拡大表示 / 警告音の動作が行われます。
それぞれの項目を設定しなかった場合、それぞれの動作は行われません。

ご注意!

この項目はアラーム発生 / モーション探知が発生した場合の継続時間です。
ビデオロスの継続時間はビデオロス反応時間の項で設定してください。

バックアップ

本機は録画済のデータを市販の USB メモリにバックアップすることができます。
始めに USB メモリを本機に接続してフォーマットしてください。

USB メモリのフォーマット

バックアップを行う際は、始めに USB メモリを本機に接続してフォーマットする必要があります。フォーマットの手順は以下の通りです。

操作手順

1. 市販の USB メモリを USB ポートに差し込みます。

2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルをに合わせて  を押します。



3. 【フォーマット】にカーソルを合わせを押すと【○はい】【×いいえ】と表示されますので【○はい】にカーソル  を合わせを押すとフォーマットが開始されます。

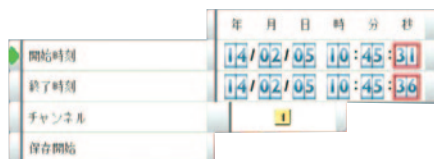
4. 正常に完了すれば画面上に【USB OK】と表示されます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

USB に記録データを保存

操作手順

1. あらかじめ本機でフォーマットした USB メモリを USB ポートに差し込みます。
2. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し     で  にカーソルを合わせて  を押します。



3. 【開始時刻】【終了時刻】にバックアップしたい時間をそれぞれ入力します。
4. 次に【チャンネル】にカーソルを合わせ  で保存したいチャンネルを選択します。
5. 設定したら【保存開始】にカーソルを合わせを押すとバックアップを開始します。
6. 正常に完了すれば画面上に【USB OK】と表示され元の画面に戻ります。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。



ワンポイントアドバイス!

バックアップしたデータは、保存した日時に沿ってファイル名が生成されます。

例：カメラ CH1 2015 年 03 月 18 日 15 時 35 分 30 秒からのバックアップを開始した場合

ファイル名：ch01_20150318_153530_xxxxxxxxx.mov

一回で行えるバックアップは 1 G B 以内もしくは 3 0 分以内のどちらかになります。

バックアップデータをパソコンで再生

バックアップしたデータを再生するには

"QuickTimePlayer(クイックタイムプレーヤー) 7"以降が必要です。

"QuickTimePlayer"はアップルコンピュータのWEBサイトより無料でダウンロード可能です。

<https://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

操作手順

1. バックアップした USB メモリをお手持ちのパソコンに接続します。
2. USB メモリが接続されているドライブを開きます。
3. USB メモリからパソコン上にデータをコピーします。
4. パソコン上に保存したデータを "ダブルクリック" します。
5. 再生が始まります。

ワンポイントアドバイス!

データのコピーはドラッグ&ドロップ、右クリックからコピーどちらの方法でも利用可能です。

ご注意!

バックアップデータは必ずパソコンに保存したものを再生してください。
USB メモリに保存されたデータを直接再生することはできません。

ネットワーク

ネットワークアクセスを利用するとインターネットやローカルネットワークを経由してアクセス元のパソコン上からライブ・再生・バックアップが行えます。

リモートアクセスについて

本書ではネットワークを通じ DVR にアクセスすることを総称して「リモートアクセス」と表記します。

本機で利用可能なリモートアクセスには2種類ありそれぞれを、「ローカル接続」「グローバル接続」と表記します。

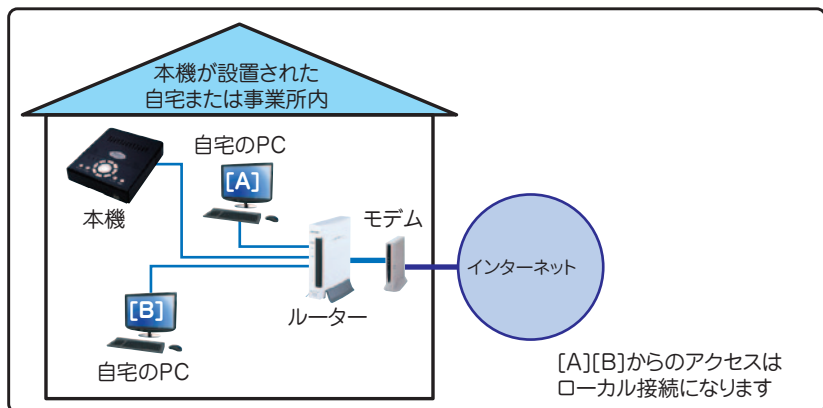
「リモートアクセス」を行うには本機のほかにブロードバンドルーターやインターネット環境等が必要になります。

また、ブロードバンドルーターにはポート解放設定が必要となります。

ご利用環境ごとに必要なものを記載しておりますのでそれぞれご用意ください。

ローカル接続

本機を設置した自宅（事業所）内で本機にアクセス
（インターネットに接続しない）



ご用意が必要なもの

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください。
- ブロードバンドルーター
※IPアドレス変換（NAPT/IP マスカレード）に対応しているもの
- LAN ケーブル (Cat5e 以上)

最低動作環境 ※搭載 OS が快適に動作することが前提となります。

OS	Windows VISTA 以降
CPU	インテル® Core™ 2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
メモリ	2GB 以上
HDD	1GB 以上の空き容量（バックアップを行う場合はさらに必要です。）
ブラウザ	Internet Explorer 8.0 以降
モニタ	解像度 1024×768 以上（パソコン本体に接続可能なもの）

ローカル接続の設定方法

ローカル接続は既存のインターネット環境や他のパソコンとのネットワーク内に本機を組み込むことが可能になります。

この場合、ローカル環境下にあるパソコン全てから本機にアクセスして映像を見ることが可能になります。

ローカル接続の設定方法は複数存在しますが本項では最も簡単でベーシックな方法を記述します。

本項を設定の際は本機とお使いのブロードバンドルーター（以下ルーター）の両方の設定を確認・変更することが必要ですのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

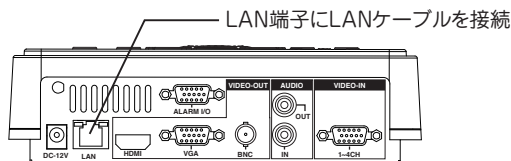
また、グローバル接続を行う場合でも最初に本項の設定をする必要があります。

設定手順

1. 本機後面の LAN 端子に LAN ケーブルを接続しルーターと接続します。



配線作業



2. ルーターとお手持ちのパソコンを LAN ケーブルで接続します。



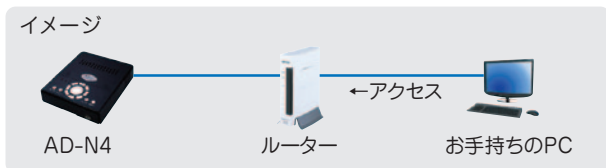
配線作業

イメージ



3. パソコンからルーターにアクセスして IP 設定 (IP アドレス /Sub Net Mask/Gate Way) を確認をします。

PC操作

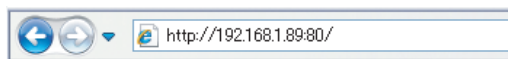


4. 次に本機を操作して【メインメニュー】>【ネットワーク】の順に開き IP アドレスを設定します。

DVR操作

Local IP	192.168.001.089	任意のIPアドレスを設定 (DHCP割当て外)
Subnet Mask	255.255.255.000	
Gate Way	192.168.001.001	ルーターと同じに設定
DNSサーバー	000.000.000.000	
DHCP有効	×	【×】に設定
HTTP Port	80	任意のポート番号 (変更しなくても問題ありません)
高度な設定		
アクセス権限	3	

5. お手持ちのパソコンから Internet Explorer を起動し、アドレス欄に設定した本機の "IP アドレス + ポート番号" を入力し、アクセスします

PC操作**IPアドレスの入力方法**

http://設定IP:ポート番号/

例 IPアドレスが "192 168 001 089" の場合 → http://192.168.1.89:80/ と入力します
ポート番号が "80" の場合

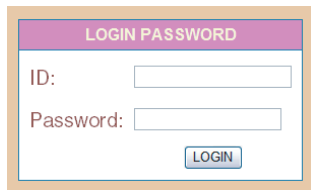
※ポート番号80の場合、ブラウザ上の画面表示は省略されます

※ポート番号を80以外に設定された場合、

IPアドレスの後ろにコロン(:)を入力しポート番号を入力してください

6. ログイン画面が表示されれば設定は完了です。

※操作方法や以後の設定については【リモート画面の操作方法】をごらんください。

PC操作



ワンポイントアドバイス!

本機への接続 URL をお気に入りに設定しておくことで以後の映像確認が簡単です。

本機は出来るだけ市販のルーターに合わせる形で初期設定が行われています。
ご利用のルーターと設定が合っている場合は特に設定を変更せずに配線後に本機の初期設定状態の IP アドレスを入力すればアクセス可能です。
設定が異なる場合は、本書を参考の上設定を行ってください。

ローカル接続時においても「ポート解放」が必要なルーターの場合は、ルーターの取扱説明書をご参照の上「ポート解放」を行ってください。



ご注意!

本機をご利用の事業所等でネットワークの管理者が存在する場合、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、管理者の指示通り設定を行ってください。

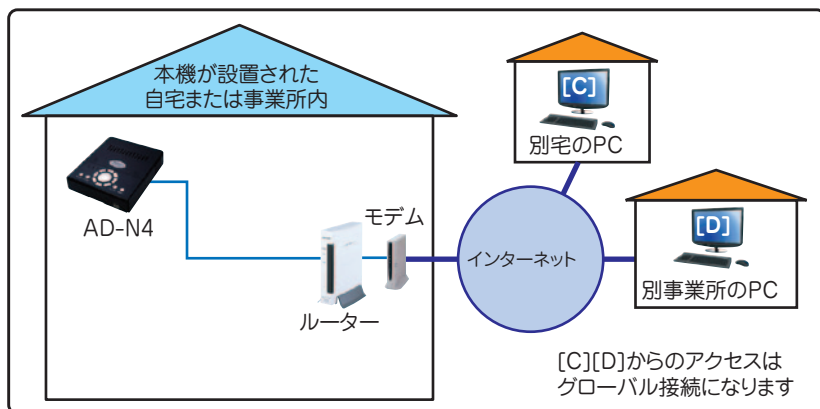


ネットワーク管理者の方へ

本機で設定するローカル IP アドレス、HTTP ポートは任意で設定可能です。
現在ご利用のネットワーク環境で DHCP を利用している場合、本機の IP アドレスは DHCP 割当範囲外のアドレスを設定して頂くとトラブルが少なくなります。
設置されるネットワーク環境に応じて変更してください。

グローバル接続

AD-N4 を設置した場所以外から本機にアクセス
(インターネットに接続)



ご用意が必要なもの

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください。
- ブロードバンドルーター
※IPアドレス変換 (NAPT/IP マスカレード) に対応しているもの
- LAN ケーブル (Cat5e 以上)
- 固定 IP またはダイナミック DNS サービス (グローバル回線側)
- 本機側アクセス側の双方にインターネット回線 (光回線推奨)

最低動作環境 ※搭載 OS が快適に動作することが前提となります。

OS	Windows VISTA 以降
CPU	インテル® Core™ 2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
メモリ	2GB 以上
HDD	1GB 以上の空き容量 (バックアップを行う場合はさらに必要です。)
ブラウザ	Internet Explorer 8.0 以降
モニタ	解像度 1024×768 以上 (パソコン本体に接続可能なもの)

グローバル接続の設定方法

※先に「ローカル接続」の設定を完了させてください。

グローバル接続は外部（遠隔地）のパソコンよりインターネットを通じ、本機の映像確認ができるようになります。

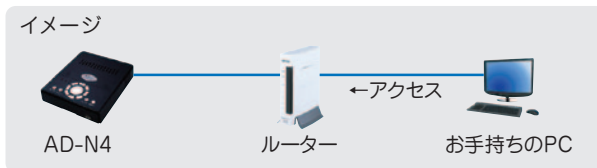
グローバル接続をご利用の際は、あらかじめ「ローカル接続」の設定を完了して頂く必要があります。

本項のほとんどの設定は本機が設置されているローカル環境のパソコンからルーターの設定を変更する作業になりますのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

またグローバル接続を行う際はご利用のインターネット環境に加え「固定 IP」または「DDNS」サービスのご利用が必要となります。上記サービスのご利用方法は、現在ご利用中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問合せください。

設定手順

1. 本書 P.92 を参照の上「ローカル接続」の設定を正しく行ってください。
2. ローカル環境のパソコンからルーターにアクセスします。
※ルーターへのアクセス方法はご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。



3. ルーターに固定 IP アドレスまたはダイナミック DNS の設定を行います。
※設定方法はご利用のルーターの取扱説明書と ISP より提供の設定情報を参照の上行ってください。

4. ルーターにアドレス変換 (IP マスカレード設定 /NAPT) 設定を行います。

PC操作

アドレス変換は以下表を参考に設定してください

変換対象 プロトコル	WAN側 アドレス	変換対象 ポート		宛先 アドレス	宛先 ポート
TCP	固定IP ※1 または DDNSアドレス	※2 任意		DVRの IPアドレス	DVRのHTTPポート (初期設定: 80)

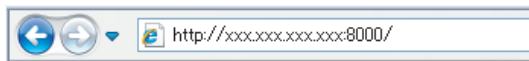
※1 ルーターによっては空欄のままご利用頂けます。

※2 DVR側のHTTPポートと同じ設定を推奨

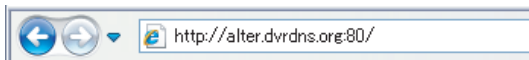
5. アドレス変換設定終了後に本機に対してグローバル接続状態にあるパソコンで
"Internet Explorer" を起動し、アドレス欄に設定した
「固定 IP + ポート番号」または「DDNS アドレス + ポート番号」を入力します。

PC操作

固定IP+ポート番号8000の場合



ダイナミックDNS+ポート番号80の場合



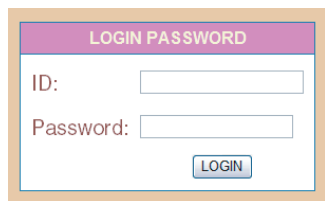
※ポート番号80の場合、ブラウザ上の画面表示は省略されます

※ポート番号を80以外に設定された場合、

IPアドレスの後ろにコロン(:)を入力しポート番号を入力してください

6. ログイン画面が表示されれば設定は完了です。

※操作方法や以後の設定については【リモート画面の操作方法】をご覧ください。

A screenshot of a login interface. It has a purple header bar with the text "LOGIN PASSWORD" in white. Below the header, there are two input fields: "ID:" followed by a text box, and "Password:" followed by a text box. At the bottom right of the form area is a blue button with the text "LOGIN" in white.

ワンポイントアドバイス!

アドレス変換の方法はご使用のルーターメーカーによって異なりますが各社で下記の項目より設定可能です。

バッファロー社製：アドバンスト>ネットワーク設定>アドレス変換

コレガ社製：詳細設定>バーチャルサーバ

NTT 純正ルーター：詳細設定>静的 IP マスカレード設定> NAT エントリ編集

※ 2009 年 8 月現在の情報に基づいています。

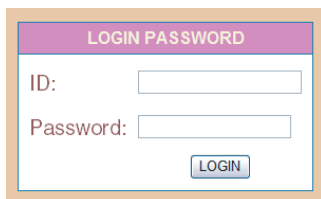
ご注意!

ルーターの機種によっては上記メーカーの機種であっても内容が異なる場合がありますのでアドレス変換に関する詳細はご使用のルーターの取扱説明書をご覧ください。ルーターの販売元に直接お問い合わせください。

リモートアクセス操作

ログイン

1. リモート接続を行うと「ログイン画面」が表示されます。
2. ご利用のアクセス権限に応じて「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し「LOGIN」をクリックします。



初期設定

ユーザー	ID	パスワード
管理者	9	3333
使用者	8	2222
ゲスト	7	1111

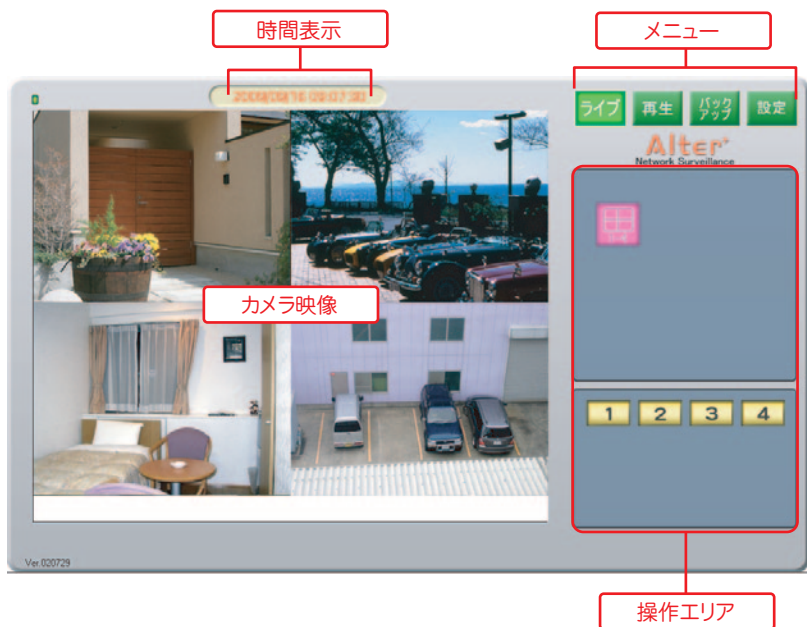
3. お使いのパソコンで初めてアクセスする場合、「Active X」のインストール画面が表示されますのでインストールしてください。
4. インストール後に再度ログインするとリモート画面が表示されます。

 ワンポイントアドバイス!

「Active X」のインストールが行われない場合はブラウザのセキュリティ設定を「中」に設定し、再度アクセスしてください。

操作方法

リモートアクセスしログインすると下記の "リモート画面" が表示されます。
操作方法メニュー / 操作エリアにあるボタンをクリックすると画面の切替えや各ボタンごとの動作が行えます。



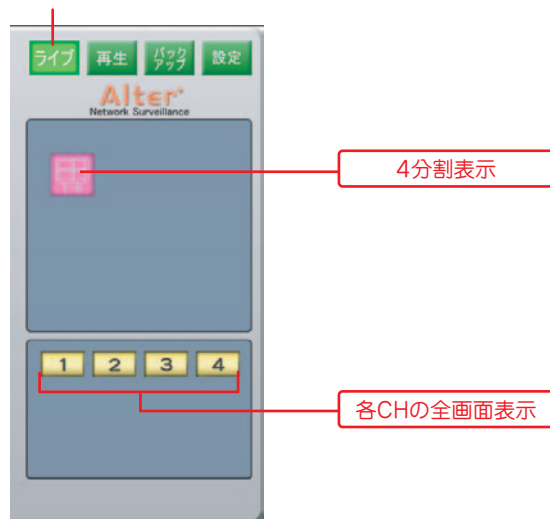
ライブ画面操作

ライブ映像は今現在のカメラ映像を確認することができます。

操作手順

ネットワーク画面の "ライブ" ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。
それぞれのボタンを押すと各動作が行えます。

"ライブ"ボタン



ワンポイントアドバイス!

リモートアクセスはインターネット回線を利用するため実際の映像に対しタイムラグが発生します。お使いのインターネット回線の状況やパソコンの性能によってタイムラグが増減します。

バックアップ

DVR に記録済の映像をパソコンへダウンロードして保存することができます。

操作手順

ネットワーク画面の "バックアップ" ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。下記図の手順でバックアップが行えます。



ワンポイントアドバイス!

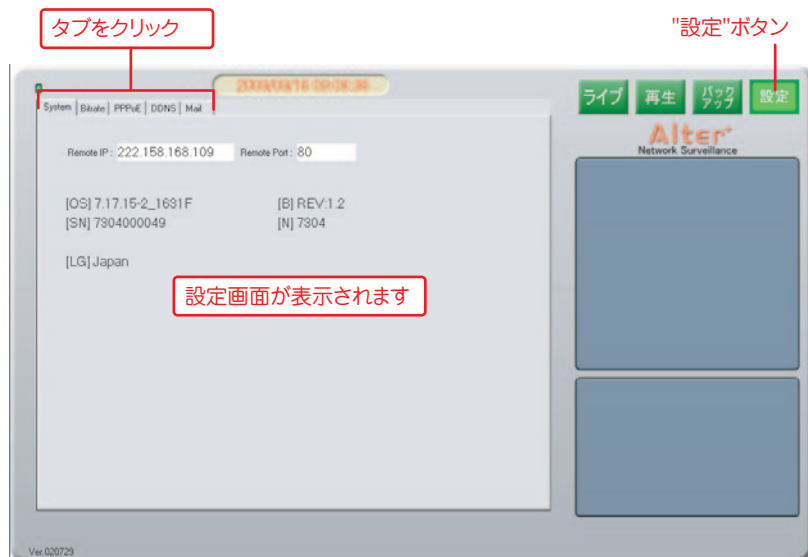
一度に行えるバックアップはファイルの容量が1GB以下または30分以内です。

設定

ネットワーク画面より各種設定の確認や変更を行うことができます。
※ブラウザ環境による文字化け防止のため画面表示は英語 / 数字のみとなります。

操作方法

ネットワーク画面の " 設定 " ボタンをクリックすると画面表示が切替わります。
各項のタブをクリックしてそれぞれの設定が可能です。



System (システム)

現在のシステムステータスを確認できます。

Bitrate (ビットレート)

映像の品質を設定できます。

※お使いの環境下で映像が滑らかに表示されない場合は数値を低くしてください。

PPPoE (ピー・ピー・ピー・オー・イー)

PPPoE の設定ができます

※本書ではルーターを利用した、リモート接続を推奨しておりますので本項での説明は省略させていただきます。

DDNS (ディー・ディー・エヌ・エス)

DVR 側から DDNS サーバーの設定ができます

利用可能なサービスは "DynDNS.com" "No-IP" の二種類です。

※上記の DDNS サービスは他社サービスの為、当社ではサポート対象外とさせていただきます。

Mail (メール)

アラーム発生時に指定したアドレスに通知メールを送付できます

メールの送付は通知のみとなります (画像データ等は添付されません)

※メールの送信は送信側の E メールアドレス設定が必要になります。お使いの E メールの設定をご利用ください。

ご注意!

"PPPoE" はルーターを使用せずに直接モデムと接続を行う場合に使用します。本書ではルーターを利用したリモート接続を推奨しておりますので本項での説明は省略させていただきます。また "PPPoE" "DDNS" の設定についてはサポート対象外とさせていただきますのでご了承ください。

高度な設定

この項目ではネットワークに関する詳細な設定が可能です。

「PPPoE」「DDNS」「電子メール設定」はマウス操作が必須となります。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【高度な設定】の順に選択すると以下の画面が表示され設定が行えます。



UPnP自動 ☐ =UPnPを使用する場合「○」にします

デュアルストリーム設定 =デュアルストリーミングの設定が行えます。

PPPoE設定 =PPPoE の設定が行えます。

DDNS設定 =DDNS の設定が行えます。

電子メール設定 =メール通知設定が行えます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

UPNP (ユー・ピー・エヌ・ピー)

UPnP を利用する事ができます。

デュアルストリーム設定

ネットワークアクセス時帯域が確保できない場合、設定した速度に自動で切替えます。

※お使いの環境下で映像が滑らかに表示されない場合は数値を低くしてください。

PPPoE (ピー・ピー・ピー・オー・イー)

PPPoE の設定ができます

※本書ではルーターを利用した、リモート接続を推奨しておりますので本項での説明は省略させていただきます。

DDNS (ディー・ディー・エヌ・エス)

DVR 側から DDNS サーバーの設定ができます

利用可能なサービスは "DynDNS.com" "No-IP" の二種類です。

※上記の DDNS サービスは他社サービスの為、当社ではサポート対象外とさせていただきます。

電子メール設定

アラーム発生時に指定したアドレスに通知メールを送付できます

メールの送付は通知のみとなります (画像データ等は添付されません)

※メールの送信は送信側の E メールアドレス設定が必要になります。お使いの E メールの設定をご利用ください。

アクセス権限

ネットワークアクセス時のログインパスワードを変更できます。

操作手順

1. ライブ画面で  を押してメインメニューを表示し



> 【アクセス権限】の順に選択すると設定画面が表示されますのでパスワードを変更したいユーザー名にカーソルを合わせ  を押します。



= ゲスト (ID7)

= 使用者 (ID8)

= 管理者 (ID9)

3. パスワードの変更画面が表示されますので  を回して右の矢印を変更したい数字に合わせ  を押して新しく決めたパスワードを (4 ケタ) を入力します。



4. 緑色のカーソルが下の段に移動しますので、確認用に先ほどの数字と同じ 4 ケタの番号を入力します。
5. 正しく入力されると「パスワードを変更しました！」と表示されネットワークアクセス時のログインパスワードが変更されます。

■ 終了する場合は  を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

ワンポイントアドバイス!

このパスワードはリモートアクセス時のログインパスワードです。

本体を操作する為のパスワーではありません。

本体操作用のパスワードはメニュー操作 - システムの「パスワード設定」の項をご参照下さい。

パスワードは定期的に変更される事をおすすめ致します。

ご注意!

本機ではユーザー ID は変更する事はできません。

HDD の交換

本機はご自身でHDDを交換することが可能です。

ご自身で作業される方へ

AD-N4 シリーズは市販されている SATA タイプの HDD がご利用いただけます。
HDD は精密機器ですので本書の " 必ずお読みください " の項をお読みの上、特に丁寧に取扱ってください。

HDD の特性や交換手順を十分にご理解のうえ作業を行ってください。

HDD の互換・保証

当社より提供するHDD以外のHDDを本機にご使用の場合、HDDの互換・保証は致しておりませんのでご注意ください。

また、記録データ内容についてはいかなる場合においても保証致しかねます。

動作確認済み HDD と標準搭載品

当社では以下のメーカーのHDDで動作確認いたしております。

また、製造のロットによって以下のメーカーの中から選定して搭載しております。

■ Seagate 製 ■ Western Digital 製 ■ TOSHIBA 製

※上記メーカー複数の HDD で動作確認を行っておりますが、個別の品番全ての動作検証は致しておりませんのでご了承ください。

HDD 交換サービス (有償)

HDDの交換は有償にて当社でも承っております。

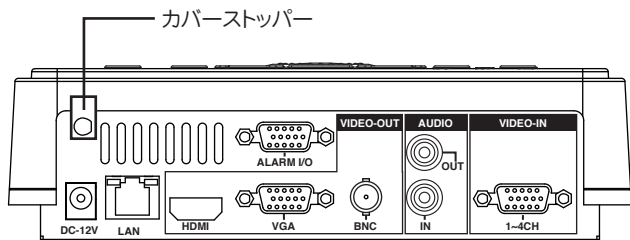
下記のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

オルタプラスサポートダイヤル

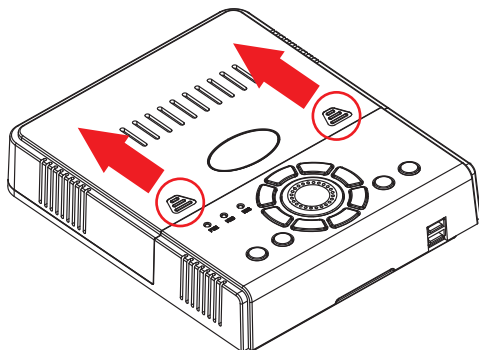
TEL : 042-775-2266 (平日: 9:00 ~ 17:00)

交換手順

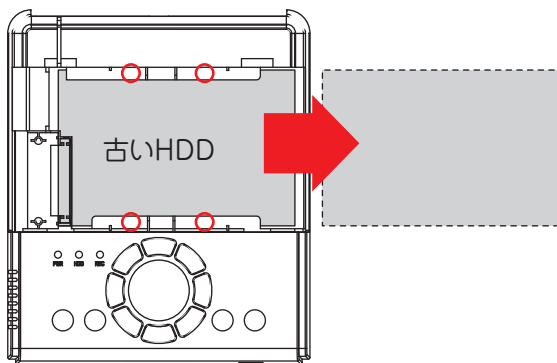
1. 本体後ろ面左上にある "カバーストッパー" のネジをはずします。



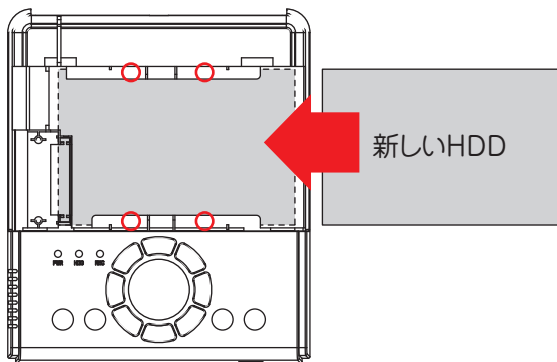
2. ○印の位置を指で押しながらカバーを奥にスライドさせます。



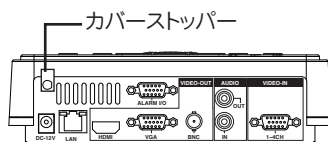
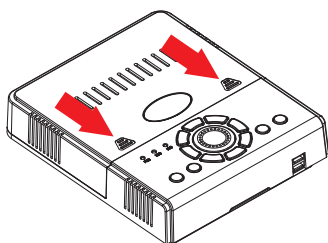
3. HDDが取り付けされている4箇所のネジをプラスドライバーで取り外し、HDDを右側にスライドさせてHDDを外します。



4. 新しいHDDを挿入し4箇所をネジ止めします。



5. 本体のカバーを閉じ、カバーストッパーを取付けます。



6. 本機がHDDを認識し画面上に"フォーマットしてください"と表示されたらフォーマットしてください。

7. HDD容量が画面下中央に表示されれば完了です。

ワンポイントアドバイス!

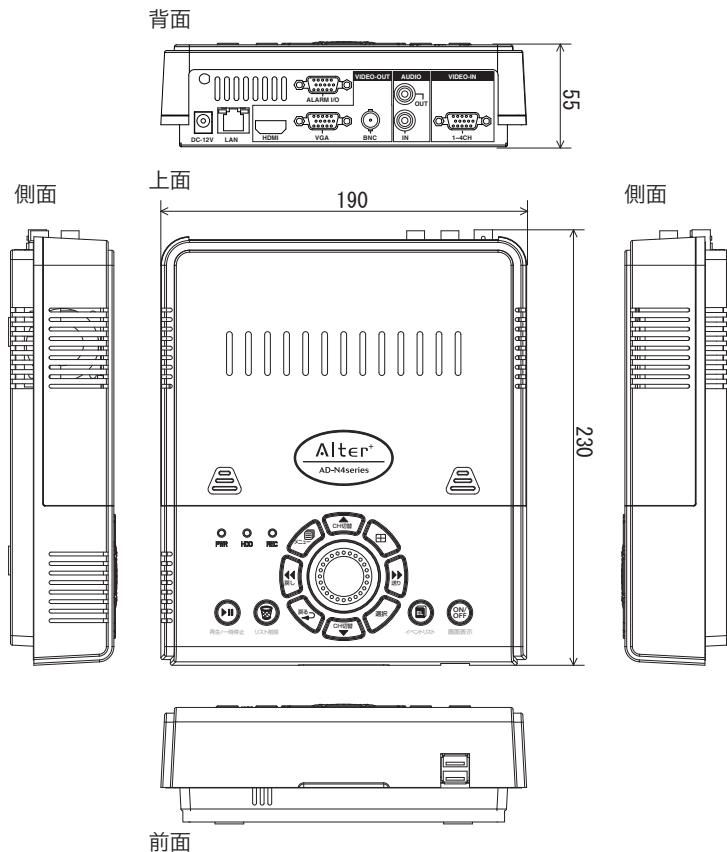
HDD交換後にHDDが認識されるまでおよそ30秒程度必要です。
本機は電源を切らずにHDDが交換可能なホットスワップ機能を搭載しています。
HDD交換の際、システム状況に応じて自動的に再起動がかかる場合があります。

製品仕様

型式		
システム	OS	Animated GUI
	マルチプレクス	Pentaplex(ライブ/録画/再生/ネットワーク/バックアップ)
	メニュー表示言語	日本語 他全21ヶ国語を搭載
映像表示	表示方式	NTSC/PAL(自動判別機能付き)
	映像入力	4CH BNC-J ※付属ケーブル利用(本体側:D-Sub15ピン)
	映像出力端子	HDMI/VGA/BNC(サブ:出力)
	映像出力サイズ	HDMI: 1920×1080 / 1280×720
		VGA: 1920×1080 / 1680×1050 / 1280×1024 / 1024×768 BNC(サブ): 800×600(50or60Hz)
	ビデオロス検知	各チャンネル入力に搭載
	モーション検知	各チャンネル入力に搭載
	プレビュー解像度	各チャンネル最大720×480pixel
	プレビューフレーム	120フレーム/秒
	カメラ画質調整	各チャンネル毎に調整可能(輝度/コントラスト/色合い/彩度)
	シーケンス	1~255秒で設定可能(1→2→3→4)
	画面表示	4分割 / 各チャンネル表示
	表示色	1600万色
音声	入力	RCA-J×1
	出力	HDMI または RCA-J×1
録画	圧縮方式	H.264 エンハスト
	圧縮レート	300:1
	解像度	704×480、704×240、352×240
	画質設定	5段階(30FPS設定時は画質4まで)
	フレームレート	各CH 2・3・5・7.5・10・15・30/秒
	録画方法	常時/モーション/センサートリガー
	スケジュール設定	1週間分を30分単位で設定可能
	ブリアラーム録画	2~10秒(オート)
	上書き録画	ON/OFF設定可能
再生	検索方法	日時指定/検索しおり
	操作	再生/早送り/巻き戻し/一時停止
	早送り速度	3段階(x5/x15/x60)
記録装置	内蔵ハードディスク	1TB
	ハードディスクタイプ	SATAx1台 最大4TBまで対応
	外部ストレージ	ハードディスク 最大4TBまで対応
	バックアップデバイス	USBデバイス 最大32GBまで

動体検出	検出エリア	各チャンネル 30×44マスでマスク設定が可能
	感度設定	100段階
アラーム	入力	8ch (NOまたはNC)
	入力端子	専用ターミナルブロック (本体側: D-Sub15ピン)
	出力	1CH TTL3.3V
	ブザー	内蔵ブザー
	検出トリガー	カメラ断線/動体検出/センサー入力
イベントリスト		最新の8192件を記録
ネットワーク	Ethernet	10/100base
	リモートブラウザ	IEブラウザ
	リモート解像度	ブラウザ側画面サイズ1024×768pixel以上を推奨
	リモート操作	ライブ/再生/バックアップ/パラメーター設定
	再生ビットレート	自動設定 または 10段階のユーザー設定
	音声	-
	プロトコル	PPPoE/DDNS/DHCP
	リモート接続数	1
PTZコントロール	接続端子	付属ターミナルブロック (本体側: D-Sub15ピン)
	対応プロトコル	Pelco P/Honey Well/SystemAV/Eastel/Lilin/Pelco D/ Elitar/Panasonic/Eyeview/TOA/HI SHARP/VIDO AT
DVR設定	本体	本体操作/リモコン/マウス
	ネットワーク接続時	管理者権限ログインでネットワーク設定の変更が可能
信頼性	システム回復	自動復旧・自己診断機能 (電源復旧時)
	時計	内蔵クロック (月差±50~100秒) NTPクライアント機能 (インターネット環境必須)
	防塵フィルタ	-
	HDD交換	ホットスワップ対応
	アクセス権限	ローカル2段/ネットワーク3段階 (パスワード保護)
	内蔵ファン	1個
外形寸法	外形寸法	190W×230L×55H (mm)
	質量	約1kg (HDDを除く)
電力	電源	DC12V 2.5A (専用ACアダプター)
	消費電力	最大24W
動作温度範囲		5~40℃
月々の電気代		約397円
認証		PSE/FCC/CE

外形寸法図



保証書

この保証書は、取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、保証書の記載内容にて無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの際に、販売店印、ご購入日が記入されていることを確認してください。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品名 : AD-N4 シリーズ	販売店(店名、住所、電話番号)
保証期間 : お買い上げ日より1年間	
ご購入日 : 年 月 日	
お名前 :	
ご住所 : 〒	
電話番号 : ()	

無償修理規定

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で異常・故障が発生した場合は、上記の期間無料修理いたします。
2. 無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店もしくは当社へお申し付けください。
3. 保証対象は、当製品のみを保証対象機種とさせていただきます。オプション・追加機器は各々の機器の保証規定に準じます。
4. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ◇使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ◇火災、地震、水害、落雷、そのほかの天災地変、公害やガス害、塩害、異常電圧による故障及び損傷
 - ◇指定外の電源（電圧）による故障及び損傷
 - ◇本書のご提示がない場合
 - ◇本書にお買い上げ日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ◇製品に異常が認められない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は上記に明示した期間 条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店もしくは当社へお問い合わせください。

- ☐ 本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ☐ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ☐ 本書に記載された仕様・デザイン・その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

NY 252-0131

神奈川県相模原市緑区西橋本 1-16-18

TEL 042-775-2266 FAX 042-775-7373

修理品等をご送付される際は、上記の住所までご送付ください。

株式会社 キャロットシステムズ
(オルタナティブサポートセンター)